

平成 29 年 度

授業科目の解説 (2年用)

看護学科

島根大学医学部

平成29年度授業時間割表（看護学科2年）

前 期

	1・2 8：30～10：00	3・4 10：15～11：45	5・6 12：45～14：15	7・8 14：30～16：00	9・10 16：15～17：45
月			薬理と薬剤 (小林) (N11)	疾病論 (福田他) (N11)	
火			障害福祉論 (小林他) (N12)	看護理論 (福間他) (N12)	疾病論 (福田他) (N21)
水	看護英語・Aクラス (岩田)(eステーション)	看護英語・Bクラス (岩田)(eステーション)	日常生活援助技術演習 (福間他) (N12), 第3実習室		
木		地域看護学概論 (小笹他) (N11)			疾病論 (福田他) (N11)
金			看護過程論演習 (津本他)(N21), 第3実習室		病理学の基礎 (橋本他) (N21)

後 期

	1・2 8：30～10：00	3・4 10：15～11：45	5・6 12：45～14：15	7・8 14：30～16：00	9・10 16：15～17：45
月		保健福祉行政論 (小笹他) (N21)	成人看護学概論 (矢田) (N21)	養護概論 (土江) (N21)	
火		老年看護学概論 (原) (N11)	地域看護学活動論 (榊原他) (N21)・第4実習室		
水	看護英語・Bクラス (マーフィ)(L2)	看護英語・Aクラス (マーフィ)(L2)	精神看護学概論 (瀧尻) (N21)	小児看護学概論 (秋鹿) (N21)	
木			疫学・衛生統計 (神田他) (N11)	母性看護学概論 (松浦他) (N11)	【教職科目】 (遠隔講義) 視聴覚教育論(権藤) (N21)(L3)
金		助産学概論 (松浦他) (N12)	診療時援助技術演習 (宮本他)(N21)・第3実習室		

2～3月：基礎看護学実習（津本他）

区 分	授業科目名	単位数	履修年次		必修 選択 又は 別	授業担当教員	
			2年次				
			前期	後期			
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	看護英語 pp5～6	1	1		必修	教 授 岩田 淳
		看護英語 pp7～8	1		1	必修	助 教 Lynne Murphy
		病理学の基礎 pp9～10	2	2		必修	教 授 橋本 龍樹 他
		保健福祉行政論 pp11～12	2		2	必修	教 授 小笹 美子 他
		薬理と薬剤 pp13～14	2	2		必修	特任教授 小林 裕太
		疾病論 pp15～16	2	2		必修	教 授 福田 誠司 他
		疾病論 pp17～18	2	2		必修	教 授 福田 誠司 他
		疾病論 pp19～20	2	2		必修	教 授 福田 誠司 他
		疫学・衛生統計 pp21～22	2		2	必修	教 授 神田 秀幸 他
		障害福祉論 pp23～24	2	2		選択	特任教授 小林 裕太 他
		海外研修A p25	1			自由	教 授 岩田 淳
		海外研修B p26	1			自由	募集時に決定
		海外研修C p27	1			自由	審査後決定
	専 門 科 目	看護理論 pp29～30	2	2		必修	准教授 福間 美紀 他
		看護過程論演習 pp31～32	1	1		必修	教 授 津本 優子 他
		日常生活援助技術演習 pp33～34	2	2		必修	准教授 福間 美紀 他
		診療時援助技術演習 pp35～36	1		1	必修	講 師 宮本まゆみ 他
		成人看護学概論 pp37～38	2	2		必修	教 授 矢田 昭子
		老年看護学概論 pp39～40	2	2		必修	教 授 原 祥子
		小児看護学概論 pp41～42	2	2		必修	准教授 秋鹿 都子
		母性看護学概論 pp43～44	2	2		必修	講 師 松浦 志保 他
		精神看護学概論 pp45～46	2	2		必修	講 師 瀧尻 明子
		地域看護学概論 pp47～48	2	2		必修	教 授 小笹 美子 他
助産科目	助産学概論* pp53～54	2		2	選択	講 師 松浦 志保 他	
	養護科目	養護概論 pp55～56	2		2	選択	講 師 土江 梨奈
教 職 に 関 す る 科 目	教育課程論 p57	2	2		選択	嘱託講師 森 久佳	
	道徳及び特別活動論 p58	2		2	選択	教育学部准教授 西田 忠男	
	視聴覚教育論 pp59～60	2		2	選択	教育学部 教授 権藤 誠剛	
	生徒・進路指導論 pp61～62	2	2		選択	嘱託講師 家島 明彦	

養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の単位の修得方法 (p.63掲載)
 オフィスアワー (p.64掲載)

*の科目については、他の学生も選択できる

專 門 教 育 科 目

專 門 基 礎 科 目

授業科目名	看護英語	担当教員	教授 岩田 淳		
開講年次及び学期	2年 前期 (A・Bクラス)	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>医療・看護分野に関する題材をもとに、リーディング、リスニングを中心とした語学演習を行い、看護師として必要な英語コミュニケーション能力の向上を目指します。授業では、テキスト、プリント、eラーニング教材 (Moodle, Kahoot) を利用した演習のほか、対話力向上を目的としたペア、グループ活動を行います。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>医療・看護分野における頻出語彙、構文、表現を習得し、リーディング、リスニングを中心とした語学演習により、看護師として必要な英語コミュニケーション能力の基礎力を身に付ける。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <p>(1) 看護や医療に関する英文を読み、内容を正確に理解できる。 (2) 看護や医療に関する英文の読解に頻出する語彙、文法、構文が理解できる。 (3) 看護や医療に関する英文や会話を聞いて、内容を理解できる。 (4) 患者の症状を聞いたり、患者へ指示や説明をするための基本的な英語表現が理解できる。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 60% ・小テスト (小テスト, 課題) 30% ・授業への取り組み (授業の準備, 発言, 出席) 10% <p>尚、授業に2/3以上の出席がない場合、未修とします。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>1. 教科書 『Life Saver - Basic English in Medical Situations』 (Macmillan Languagehouse) ¥2,000 (税別)</p> <p>2. その他の教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英和辞書 (電子辞書も可) ・医学部基本語彙集 ・プリント教材 (授業で配布) ・イヤフォン (各自で準備すること) 					
<p>オフィスアワー</p> <p>授業日 (水曜日) 昼休み</p>					

授業計画

回	日付	テ ー マ	授 業 内 容
1	4/12	Introduction, Unit 1	授業ガイダンス
2	4/19	Unit 2 Don't worry.	励ましの言葉をかけましょう
3	4/26	Unit 3 How are you feeling?	気分を聞いてみましょう
4	5/2 (火)	Unit 4 Take the elevator, please.	行き先を案内しましょう
5	5/10	Unit 5 What are your symptoms?	病状を尋ねましょう
6	5/17	Unit 6 Where does it hurt?	痛みの場所を聞きましょう
7	5/24	Unit 7 How long have you had these symptoms?	症状の持続時間を聞きましょう
8	5/31	Unit 8 Have you had any serious illnesses?	病歴を聞きましょう
9	6/7	ビデオ鑑賞 (2コマ分, 9:00~12:00)	『Awakenings (レナードの朝)』
10			
11	6/14	Unit 9 I'm going to take a blood sample.	検査の手順を説明しましょう1
12	6/21	Unit 10 You need to have an X-ray.	検査の手順を説明しましょう2
13	6/28	Unit 11 Let me take your vital sings.	入院患者との会話を学びましょう
14	7/5	Unit 13 There are three kinds of medicine.	薬の説明をしましょう
15	7/12	Unit 14 Are you worried about anything?	文化の違いによる心配事を聞いてあげましょう
16	7/26	期末試験	

備 考

授業内容は進度に応じて変更する場合があります。

授業科目名	看護英語	担当教員	助教 Lynne Murphy		
開講年次及び学期	2年 後期 (A・Bクラス)	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>This course is designed to help 2nd year nursing students improve their English Communication Skills. In addition to increasing their knowledge of specialized medical terminology, students will learn how to express themselves accurately in English.</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>Applying a balanced approach to the use of communicative activities, students will become familiar with a variety of expressions useful for communication in the workplace. With particular attention to reading ability, students will endeavour to read and speak at a smoother pace. Acquiring good listening and reading skills will prepare the students for effective delivery of expression through English.</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <p>Students will learn specialized medical vocabulary. Having studied some nurse-patient communication scenes, they will practice through speaking, reading, and writing activities. The students will enjoy interaction in English during pairwork activities.</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>Attitude: 10%, Assignments: 20%, Final Exam: 70%</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>Book: Caring for People Authors: Michiko Mayuzumi, Tamiko Miyatsu, Philip Hinder, Kyoko Shida, Masako Sugita, Iwao Yamashita Company: Cengage Learning ISBN: 978-4-86312-256-7</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>掲示板に提示し周知する。</p>					

授業計画

回	テ - マ	授 業 内 容	備 考
1	Meeting Patients	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
2	Taking a medical history	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
3	Assessing patients' symptoms	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
4	1-3 review	evaluation of progress through a variety of assignments	
5	Taking vital signs	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
6	Taking a specimen	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
7	Conducting medical examinations	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
8	4-6 review	evaluation of progress through a variety of assignments	
9	Assessing Pain	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
10	Advising about Medication	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
11	Improving Patients' Mobility	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
12	7-9 review	evaluation of progress through a variety of assignments	
13	maintaining a good diet	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
14	caring for inpatients	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
15	coping with emergencies	specialized medical terminology; reading exercises; communicative activities	
備 考			

授業科目名	病 理 学 の 基 礎	担当教員	教授 橋本 龍樹 他		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>病理学は、疾病及び病的状態の本質について全身または臓器の構造的・機能的異常として究明する学問である。病理学の基礎においては、疾病の本質を細胞・組織レベルで勉強し、生体の恒常性が乱れている病因とその結果によって生ずる病変について学習する。これまでに蓄積されてきた病気についての知識に根付いた治療方法、看護方法、介護を全人的にとらえながら実践する基礎的能力を習得する。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 疾病の本質を知る。 2. 疾病の原因について、全身の各臓器に通ずる一般的な原理、概念について理解する。 3. 全身の各臓器、組織に生じた病変について理解する。 4. 看護のアセスメントと援助に必要な病理学的な基礎的知識を習得する。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 疾病の遺伝的要因と環境要因について説明できる。 2. 細胞・組織の障害、再生と修復、循環障害、炎症、代謝異常、腫瘍、先天異常、遺伝疾患について定義できる。 3. 臓器別の主な病変を具体的に説明できる。 4. 老年期疾患の特徴と老化のメカニズムについて説明できる。 5. 放射線障害とその防御について説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>出席状況及び筆記試験により判定する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：カラーで学べる病理学（第3版）ヌーヴェルヒロカワ</p> <p>参考図書：カラー ルービン病理学 西川書店</p>					

授業計画

回	月 日	時 間	テ ー マ ・ 授 業 内 容	備 考
1	4月7日	16:15～17:45	細胞・組織とその障害	橋本
2	4月14日	16:15～17:45	再生と修復	橋本
3	4月21日	16:15～17:45	循環障害 1	橋本
4	4月28日	16:15～17:45	循環障害 2	橋本
5	5月12日	16:15～17:45	炎症	橋本
6	5月19日	16:15～17:45	腫瘍	磯村先生
7	5月26日	16:15～17:45	腫瘍	磯村先生
8	6月2日	16:15～17:45	先天異常	橋本
9	6月9日	16:15～17:45	老化と老年病, 新生児の病理	橋本
10	6月16日	10:15～11:45	病理診断・検査	丸山先生
11	6月23日	16:15～17:45	生命の危機	橋本
12	6月30日	16:15～17:45	循環器系の病理	橋本
13	7月7日	16:15～17:45	呼吸器系の病理	橋本
14	7月14日	16:15～17:45	消化器系の病理	橋本
15	7月21日	16:15～17:45	放射線障害	小林先生
16			試験	

備 考

N21教室で行います。毎週金曜日5コマ目に行います。
 6月16日(金)は2コマ目に行います。
 担当の先生の都合によって、日程が変更されることがあります。

授業科目名	保健福祉行政論	担当教員	教授 小笹 美子 他		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>保健医療福祉行政は、国の政策である基本的人権に基づく生存権の保障を確保するための行政である。人間の生命の問題、健康の問題、生活の問題に直結しており、行政が総合的に機能することで、人々が日常生活行動を安全に営むことが保障される。保健医療福祉活動を具現化するため、わが国の保健・福祉に関する法制度を中心に基本的な制度の構造・機能を教授する。</p> <p>また、保健・福祉行政のサービスの連携システムや社会保障・社会福祉制度の問題点、保健・福祉の政策立案過程についても幅広く概説し、地域で生活をしている人々への支援に応用できるようにする。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療福祉行政と暮らしとの関係を理解し、健康課題に沿った保健師の役割が理解できる。 2. 健康課題別の背景となる法体系や制度を理解できる。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療福祉行政の変遷と基本原理が理解できる。 2. 国・都道府県・市町村の役割と機能、行政の単位と仕組みが理解できる。 3. 保健、医療、福祉に関する法令が理解できる。 4. 医療法を基礎とする医療提供体制について理解できる。 5. 社会保障の概念と社会保険の仕組み・内容が理解できる。 6. 社会福祉の概念と生活保護・児童家庭福祉・高齢者福祉・障がい者福祉の制度が理解できる。 7. 健康危機管理に向けた施策と地域の協力体制が理解できる。 8. 保健福祉の充実・発展に向けた行政機関と民間活動の連携が理解できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>定期試験、課題レポート、出席及び授業態度(含む発表)で総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 関係法規 メジカルフレンド社、最新版 国民衛生の動向 最新版</p> <p>参考書：最新 保健学講座7 保健医療福祉行政論 メジカルフレンド社 最新版 標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論 医学書院 最新版 これからの保健医療福祉行政論 日本看護協会出版会 最新版 国民の福祉と介護の動向 最新版 国民の保険と年金の動向 最新版</p>					

授業計画

回	月日	曜日	授 業 内 容	担当者
1	9月27日	水 (月曜日授業)	社会保障制度の概要, 基本理念	小笹
2	10月2日	月	保健医療行政の変遷	小笹
3	10月11日	水 (月曜日授業)	医療提供体制	谷口 栄作 (地域医療支援学)
4	10月17日	火 8:30~10:00	社会福祉の概念と公的扶助	出雲市社協 渡部 英二
5	10月23日	月	保健・福祉の制度としての法律	小笹
6	10月24日	火 8:30~10:00	発表1 (保健福祉の法律)	小笹
7	11月6日	月	発表2 (保健福祉の法律)	小笹
8	11月13日	月	発表3 (保健福祉の法律)	小笹
9	11月20日	月	保健福祉制度とケース支援 (母子)	松江市 堀江 亜由美
10	11月27日	月	保健福祉制度とケース支援 (高齢者)	小笹
11	12月4日	月	年金制度	小笹
12	12月11日	月	保健福祉制度とケース支援 (精神)	出雲保健所 青笹 美香
13	12月18日	月	公衆衛生と保健医療福祉	小笹
14	1月9日	火 8:30~10:00	保健医療福祉の計画と評価	谷口 栄作 (地域医療支援学)
15	1月15日	月	行政機関の活動と民間の活動 看護と保健医療福祉の連携	小笹
	1月22日	月	(試験)	小笹

備 考

(月)10:15~11:45 一部 (火)8:30~10:00

*学外講師の都合で予定が変更になることがある。

教科書：新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 関係法規 メジカルフレンド社, 最新版
国民衛生の動向 最新版

参考書：最新 保健学講座7 保健医療福祉行政論 メジカルフレンド社 最新版
標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論 医学書院 最新版
これからの保健医療福祉行政論 日本看護協会出版会 最新版
国民の福祉と介護の動向 最新版
国民の保険と年金の動向 最新版

授業科目名	薬理と薬剤	担当教員	特任教授 小林 裕太		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>薬物と生体の相互作用の結果起こる現象と、その機構を理解し、薬物による疾病の治療や再発予防に関する理論的な基礎を学ぶ。また、主要な疾患に用いる薬物について作用機構、薬物の特徴、使用時における看護師としての注意点などを学ぶ。さらに薬物による副作用や相互作用および薬剤の管理と与薬について学ぶ。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>薬理学の考え方と、薬物による疾病の治療やその予防に関する理論の基礎を理解する。さらに主要な疾患とその治療薬について看護の視点から理解する。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品を正しく、効果的に用いるために必要な事項について説明できる。 2. 医薬品と関わりのある法令のうち、看護の現場で必要な事項を説明できる。 3. 医薬品と生体の反応について理解し、説明できる。 4. 主な治療薬について、使用される疾患と治療薬の特徴を説明できる。 5. 医薬品の副作用、相互作用について理解し、説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>ミニテスト、レポートおよび筆記試験により行う。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：「系統看護学講座，専門基礎5，薬理学」大鹿英世，吉岡充弘編著，医学書院 参考書：「今日の治療薬2017」浦部昌夫ほか 南江堂 「シンプル薬理学」野村隆英ほか 南江堂</p>					

授業計画

回数	月日	時間	教室	テーマ	授 業 内 容	備 考
1	4月10日 (月)	12:45～ 14:15	N11	総論 1	薬理学の概念，薬物受容体，薬理作用について学ぶ。	
2	4月14日 (金)	"	N21	総論 2	薬物体内動態，薬効に影響を与える要因について学ぶ。	
3	4月17日 (月)	"	N11	総論 3	薬の有害作用，薬の管理，薬物の開発について学ぶ。	
4	4月21日 (金)	"	N21	抗感染症薬 1	抗感染症薬の作用機序と主な薬剤について学ぶ。	
5	4月24日 (月)	"	N11	抗感染症薬 2， 抗腫瘍薬	特別な抗菌薬と抗腫瘍薬の作用機序と主な薬剤，副作用とその対策について学ぶ。	
6	4月25日 (火)	14:30～ 16:00	N12	免疫治療薬， 抗アレルギー， 抗炎症薬	免疫治療薬，抗ヒスタミン薬，エイコサノイド，非ステロイド性・ステロイド性抗炎症薬，関節リウマチ治療薬，痛風治療薬について学ぶ。	
7	5月1日 (月)	12:45～ 14:15	N11	末梢神経作用薬 1	自律神経作用薬概論，交感神経作用薬について学ぶ。	
8	5月8日 (月)	"	"	末梢神経作用薬 2	副交感神経作用薬，筋弛緩薬，局所麻酔薬について学ぶ。	
9	5月9日 (火)	14:30～ 16:00	N12	中枢神経作用薬 1	全身麻酔薬，催眠薬と抗不安薬，麻薬性鎮痛薬について学ぶ。	
10	5月15日 (月)	12:45～ 14:15	N11	中枢神経作用薬 2	向精神薬，抗うつ薬，パーキンソン症候群治療薬，抗てんかん薬について学ぶ。	
11	5月22日 (月)	"	"	心臓・血管系 作用薬 1	うっ血性心不全治療薬，抗不整脈薬，強心薬，狭心症治療薬，循環器系救急蘇生薬について学ぶ。	
12	5月29日 (月)	"	"	心臓・血管系 作用薬 2	高血圧治療薬，利尿薬，脂質異常症治療薬，血液造血系作用薬について学ぶ。	
13	6月12日 (月)	"	"	呼吸器系・消化器系作用薬	喘息治療薬，鎮咳薬，消化器系疾患治療薬について学ぶ。	
14	6月19日 (月)	"	"	生殖器系作用薬 と物質代謝に関 連する治療薬	生殖器系作用薬，ホルモンおよびホルモン拮抗薬，ビタミンについて学ぶ。	
特別 講義	6月21日 (水)	16:15～ 17:45	"	薬害について	陣痛促進剤事故について知ろう～事故から学び事故を未然に防ぐために	出元明美
15	6月26日 (月)	12:45～ 14:15	"	皮膚科・眼科用薬， 漢方薬，消毒薬	皮膚科・眼科用薬，漢方薬，消毒薬について学ぶ。	
16	7月3日 (月)	"	"	まとめ	First Trial	

備 考

6/5は学会のため休講，7/10，7/24も休講。

看護過程論が休講の4/14，4/21，看護理論が休講の4/25，5/9に補講をします。

6/21の特別講義は出欠は取りませんが，出席カードは通常のミニテストと同じだけ加点します。

成績評価：First Trialでは毎回のミニテストとレポートで全部で30%，筆記試験を70%として評価します。本試験はFirst Trial 50%，筆記試験50%，とします。再試験は筆記試験のみで評価します。

欠席はFirst Trialで1回につき2点減点とします。

授業科目名	疾 病 論	担当教員	教授 福田 誠司 他		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>本講義では、患者の身体や精神機能に疾病がどのような影響を及ぼすのかを学習する。疾病論では、循環器，呼吸器，消化器，内分泌・代謝の疾病の病態について学び，適切な看護計画を立て，実際のケアを行う際の基礎的知識を身につける。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>系統別に各疾患を病態に基づいて学習し，根拠に基づいた看護を提供するため必要な知識を修得する。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 疾患に伴う自覚及び他覚的症候とその病態生理について説明することが出来る。 2. 系統別に代表的な疾患が列挙でき，その疾病概念，診断（症状，理学所見，検査所見），治療法，経過，予後について説明できる。 3. 患者の病態に則した看護の基本について説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>出席状況及び筆記試験により判定する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：系統看護学講座（医学書院） 成人看護学 [2] 呼吸器，成人看護学 [3] 循環器，成人看護学 [5] 消化器，成人看護学 [6] 内分泌・代謝</p> <p>参考図書：病気がみえる（MEDIC MEDIA） 1 消化器，2 循環器，3 糖尿病・代謝・内分泌，4 呼吸器</p>					

授業計画

回	月 日	時 間	テ - マ ・ 授 業 内 容	担当者
1	4月10日	14:30～16:00	総論&消化器疾患 1	福田
2	4月17日	14:30～16:00	消化器疾患 2	福田
3	4月24日	14:30～16:00	消化器疾患 3	福田
4	5月 1日	14:30～16:00	消化器疾患 4	福田
5	5月 8日	14:30～16:00	消化器の外科的治療	平原先生
6	5月15日	14:30～16:00	循環器疾患 1	福田
7	5月22日	14:30～16:00	循環器疾患 2	福田
8	5月29日	14:30～16:00	循環器の外科的治療	末廣先生
9	6月 5日	14:30～16:00	循環器疾患 3	福田
10	6月12日	14:30～16:00	呼吸器疾患 1	福田
11	6月19日	14:30～16:00	呼吸器疾患 2	福田
12	6月26日	14:30～16:00	呼吸器疾患 3	福田
13	7月 3日	14:30～16:00	糖尿病・代謝・内分泌 1	福田
14	7月10日	14:30～16:00	糖尿病・代謝・内分泌 2	福田
15	7月24日	14:30～16:00	小児の疾患	福田
16			試験	

備 考

N11教室で行います。毎週月曜日4コマ目に行います。
担当の先生の都合によって、日程が変更されることがあります。

授業科目名	疾 病 論	担当教員	教授 福田 誠司 他		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>本講義では、患者の身体や精神機能に疾病がどのような影響を及ぼすのかを学習する。疾病論では、アレルギー・膠原病、脳・神経、血液、運動器の病態について学び、適切な看護計画を立て、実際のケアを行う際の基礎的知識を身につける。臨床検査の基礎においては、さまざまな疾患を有する患者において、どのような検査が行われ、診断・治療に結びついているかを学習する。さらに、脳神経外科の手術、リハビリテーション医学の概要についても学習する。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者に適切な診断、治療を行うために必要な検査法についての基本的知識を学習する。 2. 系統別に各疾患を病態に基づいて学習し、根拠に基づいた看護を提供するため必要な知識を修得する。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的な疾患を診断するための血液検査、生理機能検査、放射線検査及びそれらの検査所見について説明できる。 2. 疾患に伴う自覚及び他覚的症候とその病態生理について説明することが出来る。 3. 系統別に代表的な疾患が列挙でき、その疾病概念、診断(症状、理学所見、検査所見)、治療法、経過、予後について説明できる。 4. 脳の疾患と頭部外傷の病態生理を理解し、脳・神経外科における診断法、治療法が説明できる。 5. リハビリテーションの意義、治療法、評価方法について説明できる。 6. 患者の病態に則した看護の基本について説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>出席状況及び筆記試験により判定する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：系統看護学講座(医学書院) 成人看護学[4] 血液, 成人看護学[7] 脳・神経, 成人看護学[10] 運動器, 成人看護学[11] アレルギー・膠原病・感染症, 臨床検査</p> <p>参考図書：病気がみえる(MEDIC MEDIA) 5血液, 6免疫・膠原病・感染症, 7脳・神経, 異常値のメカニズム(医学書院)</p>					

授業計画

回	月 日	時 間	テ ー マ ・ 授 業 内 容	担当者
1	4月11日	16:15～17:45	検査の基礎 1	福田
2	4月18日	16:15～17:45	検査の基礎 2	福田
3	4月25日	16:15～17:45	検査の基礎 3	福田
4	5月9日	16:15～17:45	脳・神経系疾患 1	福田
5	5月16日	16:15～17:45	脳・神経系疾患 2	福田
6	5月23日	16:15～17:45	整形疾患 1	内尾先生
7	5月30日	16:15～17:45	整形疾患 2	内尾先生
8	6月6日	16:15～17:45	脳神経外科	永井先生
9	6月13日	16:15～17:45	脳・神経系疾患 3	福田
10	6月20日	16:15～17:45	脳・神経系疾患 4	福田
11	6月27日	16:15～17:45	血液疾患 1	福田
12	7月4日	16:15～17:45	血液疾患 2	福田
13	7月11日	16:15～17:45	リハビリテーション医学	酒井先生
14	7月18日	16:15～17:45	アレルギー・膠原病・感染症 1	福田
15	7月25日	16:15～17:45	アレルギー・膠原病・感染症 2	福田
16			試験	

備 考

N21教室で行います（5月9日はN12教室）。毎週火曜日5コマ目に行います。
担当の先生の都合によって、日程が変更されることがあります。

授業科目名	疾 病 論	担当教員	教授 福田 誠司 他		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>本講義では、患者の身体や精神機能に疾病がどのような影響を及ぼすのかを学習する。疾病論 では、1) 精神神経疾患, 2) 女性生殖器疾患・産科, 3) 腎・泌尿器疾患, 4) 皮膚疾患, 5) 眼科疾患, 6) 耳鼻咽喉疾患, 7) 歯・口腔器疾患の疾病の成り立ちと回復について学び、適切な看護計画を立て、実際のケアを行う際の基礎的知識を身につける。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>系統別に各疾患を病態に基づいて学習し、根拠に基づいた看護を提供するため必要な知識を修得する。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 疾患に伴う自覚及び他覚的症候とその病態生理について説明することができる。 2. 系統別に代表的な疾患が列挙でき、その疾病概念、診断 (症状, 理学所見, 検査所見), 治療法, 経過, 予後について説明できる。 3. 患者の病態に則した看護の基本について説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>出席状況及び筆記試験により判定する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：系統看護学講座 (医学書院) 精神看護学 [1] 精神看護の基礎, 精神看護学 [2] 精神看護の展開, 成人看護学 [8] 腎・泌尿器, 成人看護学 [9] 女性生殖器, 成人看護学 [12] 皮膚, 成人看護学 [13] 眼, 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉, 成人看護学 [15] 歯・口腔</p>					

授業計画

回	月 日	時 間	テ ー マ ・ 授 業 内 容	担当者
1	4月6日	16:15～17:45	精神神経疾患 1	河野先生
2	4月13日	16:15～17:45	精神神経疾患 2	河野先生
3	4月27日	12:45～14:15	耳鼻咽喉疾患 1	清水先生
4	5月11日	16:15～17:45	耳鼻咽喉疾患 2	川内先生
5	5月18日	16:15～17:45	女性生殖器疾患総論	石橋先生
6	5月25日	16:15～17:45	女性生殖器疾患・産科	皆本先生
7	6月1日	12:45～14:15	女性生殖器疾患・婦人科	折出先生
8	〃	16:15～17:45	腎・泌尿器疾患 1	洲村先生
9	6月8日	8:30～10:00	腎・泌尿器疾患 2	本田先生
10	〃	16:15～17:45	歯・口腔疾患 1	菅野先生
11	6月22日	16:15～17:45	歯・口腔疾患 2	菅野先生
12	6月29日	16:15～17:45	皮膚疾患 1	森田先生
13	7月6日	12:45～14:15	眼疾患 1	児玉先生
14	〃	16:15～17:45	皮膚疾患 2	千貫先生
15	7月13日	16:15～17:45	眼疾患 2	児玉先生
16			試験	

備 考

N11教室で行います。
 4/27は12:45～14:15です。
 6/1は12:45～14:15と16:15～17:45の二コマあります
 6/8は8:30～10:00と16:15～17:45の二コマあります
 7/6は12:45～14:15と16:15～17:45の二コマあります。
 担当の先生の都合によって、日程が変更されることがあります。

授業科目名	疫学・衛生統計	担当教員	教授 神田 秀幸 他		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>疫学・衛生統計は、現象をしっかりと観察し、分析を加えた上で状況を推測する科学的な方法の一分野である。事実の客観的な把握と、事実に基づいた要因の推測は、見えるものとしての現象あるいは現実から、その奥にある直接には目に見えない世界としての科学的論理を構築しようとする試みである。現実と理論との往復がこの学問の本質である。</p> <p>本科目では、疫学・衛生統計の基本的な考え方や見方を学習するとともに、様々な疾病における疫学や衛生統計の活用・応用について学習する。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 疫学・衛生統計の基本的概念・方法論を理解する。 2. 集団における健康問題を把握・分析する方法を学習する。 3. 集団の健康状態を観察・推測する方法としての衛生統計や疫学を理解する。 4. 保健・衛生統計指標について学習する。 5. 主な疾患の疫学を学習し、その疾患に対する個別の対策を考察できる。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 疫学および衛生統計の概念と方法を説明できる。 2. 集団の健康を量的に把握する健康・疾病指標を概説できる。 3. 疾病予防と健康管理の方法を説明できる。 4. 生活習慣病の疫学について概要を説明できる。 5. 飲酒や喫煙などの生活習慣の管理について説明できる。 6. 感染症の基礎概念、流行の概念、対策等を概説できる。 7. わが国の保健衛生状態を各種統計を用いて、説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>筆記試験</p>					
<p>教科書</p> <p>牧本清子 著者代表. 標準保健師講座 別巻2 疫学・保健統計学. 医学書院. 最新版. 国民衛生の動向. 厚生労働統計協会, 最新版</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>公衆衛生学：適宜 環境予防医学：E-mail:kanpo2@med.shimane-u.ac.jpへ連絡してください。</p>					

授業計画

回	月日 (曜)	時間	テーマ	授業内容	担当者
1	9月28日(木)	12:45-14:15	疫学の基本	定義と分類, 疫学と疾病予防	神田
2	10月5日(木)	12:45-14:15	保健統計調査	人口静態・動態統計等	神田
3	10月19日(木)	12:45-14:15	疫学的研究方法(1)	記述疫学, 評価指標	神田
4	10月26日(木)	12:45-14:15	疫学的研究方法(2)	分析疫学(症例対照研究とコホート研究)	神田
5	11月2日(木)	12:45-14:15	疫学的研究方法(3)	介入研究	神田
6	11月9日(木)	12:45-14:15	疫学的研究方法(4)	スクリーニングの意義, 敏感度と特異度, 陽性反応的中率	神田
7	11月16日(木)	12:45-14:15	主な疾患の疫学(1)	がんの疫学, がんの一次予防と二次予防	嘉数
8	11月30日(木)	12:45-14:15	主な疾患の疫学(2)	心血管疾患(高血圧を含む), 脳血管疾患の疫学	神田
9	12月7日(木)	12:45-14:15	主な疾患の疫学(3)	学童期・思春期の健康問題と疫学	津村
10	12月14日(木)	12:45-14:15	主な疾患の疫学(4)	精神疾患の疫学	津村
11	12月21日(木)	12:45-14:15	主な疾患の疫学(5)	難病の疫学	福田
12	1月11日(木)	10:15-11:45	主な疾患の疫学(6)	社会環境と疫学	福田
13	"	12:45-14:15	感染症の疫学(1)	感染の基礎概念, 流行の概念, 主な感染症	嘉数
14	1月18日(木)	10:15-11:45	疫学特論	リスクファクターの疫学	神田
15	"	12:45-14:15	感染症の疫学(2)	感染症の関係法規, 発生動向調査と疫学調査, 予防接種	嘉数
16	1月25日(木)	12:45-14:15	試験		

備考

講義室：N11講義室

講義日程：木曜日12:45-14:15

1月11日(木)と1月18日(木)は10:15-11:45(2コマ目)と12:45-14:15(3コマ目)

授業科目名	障害福祉論	担当教員	特任教授 小林 裕太, 准教授 福間美紀 他		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>平成22年障害者白書では「看護師を含めた看護職員については、卒前教育から、基礎看護学、在宅看護論、成人看護学、老年看護学、精神看護学等において、リハビリテーション等の障がいのある人に対する支援等を含めた、様々な場面や対象者に対応できる資質の高い看護職員の養成」が必要とされた。</p> <p>この講義では障がいの概念、障がい者の実態、障がい者施策の基本的理念、障がい者保健福祉施策の現状を体系的に理解する。さらに、身体障がい、知的障がい、精神障がいなど様々な障がいとその障がいをもつ人々について、さらにそれらの障がい者と医療との関わりについて理解する。これらの知識をもとに障がいを持つ人々への支援のできる看護職をめざす。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今日の障がいの概念や基本的理念を理解する。 2. 日本における障がい者の実態、障がい者保健福祉施策の現状と課題を理解する。 3. 障がい者施策における国際的動向を理解し、自らの障がいを捉える視点のあり方について考える。 4. 現代社会における障がい者福祉の課題を理解できる。 5. 障がい者の自立生活と社会参加に向けた支援のための社会資源について理解する。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 疾病によって人体が受ける構造と機能変化について説明できる。 2. 発達障がい児者へのライフステージに応じた支援のあり方を説明できる。 3. 障がい児者の生活を的確に把握し、自立生活と社会参加に向けた具体的な支援の方策を提示できる。 4. 現代社会における障がい者福祉の課題を概説できる。 5. 障がい者の自立生活と社会参加に向けた支援のための社会資源を説明でき、それを活用できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>毎日の参加状況、ミニテスト、レポートにより行う。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書： 参考書：「障害者福祉論」大沢根寛，小澤 温 放送大学教育振興会</p>					

授業計画

回数	月日	時間	教室	テーマ	授業内容	備考
1	4月11日 (火)	12:45～ 14:15	N12	障がいの考え方	障がいについて考える。	小林
2	4月18日 (火)	"	"	障がい者福祉の 理念と体系	障がい者福祉の体系と考え方	小林
3	4月25日 (火)	"	"	障がい者福祉の 発展	障がい者に関わる法律の変遷と現状。 「障がい者の権利条約」	小林
4	5月9日 (火)	"	"	肢体不自由	肢体不自由について学ぶ。	小林
5	5月16日 (火)	"	"	視覚障がい	視覚障がいについて学ぶ。	小林
6	5月23日 (火)	"	"	聴覚障がい	聴覚障がいについて学ぶ。	小林
7	5月30日 (火)	"	"	内部障がい	内部障がいについて学ぶ。	小林
8	6月6日 (火)	"	"	中途障がい者の 理解と支援	障がいを持つということ，障がいを持って 生きていくことについて学ぶ。	福間
9	6月13日 (火)	"	"	知的障がい	知的障がいについて学ぶ。	小林
10	6月20日 (火)	"	"	精神障がい	精神障がいについて学ぶ。	小林
11	6月27日 (火)	"	"	発達障がいと 高次脳機能障がい	発達障がい (LD, ADHD, 高機能自閉症) と高次脳機能障がいについて学ぶ。	小林
12	7月4日 (火)	"	"	障がいと仕事	就労政策と雇用、所得の保証	小林
13	7月11日 (火)	"	"	疾病と障がい	疾病と障がいについて	小林
14	7月15日 (土)	"	"	障がい者の治療	聴覚障がい者の精神疾患について	片倉和彦
15	7月18日 (火)	"	"	障がい者の ライフステージ	障がい者のライフステージ	小林

備考

欠席は2%減点する。

5/2は水曜振替

14回目は精神科臨床医の片倉先生に特に聴覚障がい者の精神疾患について話していただくため、土曜日にします。

授業科目名	海外研修 A (Overseas Study Program A)	担当教員	教授 岩田 淳		
開講年次及び学期	主として1～2年生 長期休暇中	必修・選択の別	自由		
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1

授業概要

本研修は、医学部がニュージーランドのWaikato Institute of Technology (WINTEC) の国際交流課、英語学部、健康学部と協力し、本学部の医学科、看護学科1，2年生を対象に実施する海外研修プログラムです。本プログラムでは、2週間の海外研修、事前事後の研修を通じて、(1) 基礎的な英語コミュニケーション能力と専門英語（医学英語、看護英語）の基礎力向上をはかり、(2) 海外の医療教育機関や施設の見学を通じて、医療に関する知識や視野を広げ、(3) ホームステイ等による異文化交流体験を通じて国際性を養うことを目的としている。研修期間中には次のような活動を行います。

- ・英語学習（日常英会話・基礎的な医学英語/看護英語）
- ・施設見学（クリニック、病院、高齢者施設、ホスピス、助産施設等）
- ・講義（ニュージーランドの医療制度等）
- ・他国からの留学生との交流
- ・各種イベント（歓迎・お別れパーティー、ニュージーランドの自然と文化見学等）

* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間以上履修した学生には修了認定証 (Certificate for Advanced English Skills) が授与されます。

対 象

医学科、看護学科の主として1-2年生

成績評価の方法

事前指導、事後指導、研修報告書及び報告会での発表により評価する。

実習日程・履修申込時期その他

実習日程は3月初旬～中旬を予定しています。研修の説明会、参加者募集は7月初旬に行います。また、本研修に参加する学生は、事前指導としてアドバンスト・イングリッシュ・スキルコースの「海外留学セミナー (Seminar on Overseas Study)」(後期) の履修を必須とします。

授業科目名	海外研修 B (Overseas Study Program B)	担当教員	募集時に決定		
開講年次及び学期	主として2～4年生 長期休暇中	必修・選択の別	自由		
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>海外の医療施設・研究所等で医療に関する体験学習，施設見学，異文化体験等を通じて，海外における地域医療，家庭医療について学び医療人としての視野を広げることを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の地域医療・家庭医療について学ぶ。 ・海外の保健制度について学ぶ。 ・海外の医療教育機関や施設の見学を通じて，医療に関する知識や視野を広げる。 ・異文化交流体験を通じて，国際性を養う。 <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間以上履修した学生には修了認定証 (Certificate for Advanced English Skills) が授与されます。</p>					
<p>対 象</p> <p>医学科 (主として4-6年)，看護学科 (2-4年) を対象とした海外研修。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>事前指導，事後指導，研修報告書及び報告会での発表により評価する。</p>					
<p>実習日程・履修申込時期その他</p> <p>実習日程，履修申込時期は，後日通知する。</p>					

授業科目名	海外研修C (Overseas Study Program C)	担当教員	審査後決定		
開講年次及び学期	1～4年生 長期休暇中	必修・選択の別	自由		
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>医学部が主催する「海外研修A」,「海外研修B」とは異なり, 学生が自主的かつ主体的に行う医療に関する語学学習や語学研修や体験を主たる目的とした40時間以上の海外研修</p> <p>学生が主体的に企画した計画を審査する。 審査項目は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修目的, 内容, 期間, 時間数 ・受入機関の体制 (施設・人員等) ・安全確保と緊急時の連絡体制 (渡航先の安全確認, 安全教育, 海外旅行保険加入, 緊急時連絡網等) ・事前研修 (安全教育等), 事後研修 (報告書, 報告会) の計画 <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間以上履修した学生には修了認定証 (Certificate for Advanced English Skills) が授与されます。</p>					
<p>対 象</p> <p>医学科看護学科の全学年を対象とした海外研修。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>事前指導, 事後指導, 研修報告書及び報告会での発表により評価する。</p>					
<p>実習日程・履修申込時期その他</p> <p>海外研修C申請書及び添付書類を渡航1月前までに学務課教育改革・教務担当に提出する。 企画前であっても学務課教育改革・教務担当で相談を受け付ける。</p>					

專 門 教 育 科 目

專 門 科 目

授業科目名	看護理論	担当教員	准教授 福間 美紀, 教授 津本 優子		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>看護の実践の歴史は古く、人々は太古の昔から自然発生的な愛情をもって家族や周囲の人々の生老病死に深くかかわってきました。一方、看護の理論が開発されたのは主に20世紀後半で、両者の歴史的経過には大きな時間の開きがあります。そして今日では、「実践から導かれた理論」「理論に裏付けられた実践」というように、看護の理論と実践が融合した質の高い看護サービスが求められています。</p> <p>この科目では、看護の理論的側面に焦点をあてて、看護の基盤となる考え方を学びます。看護の理論が誕生した背景、看護が学問として発展してきた経緯、現代の代表的な看護理論家とその主張、理論を看護実践に適用する方法について、講義と演習を通して学習します。</p> <p>【他科目との関連】</p> <p>この科目で学んだ看護の基盤となる考え方（理論）は、看護過程論の学習、基礎看護学実習の看護実践に反映されていきます。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>看護理論の意義を理解し、代表的な看護理論の概要と看護実践への活用方法を学ぶ。</p>					
<p>S B O（到達目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理論の定義と目的、理論開発のプロセス、看護の理論と実践の関連性を説明できる。 2. 看護理論の種類、現象を説明する範囲、理論の要素となる主要概念について説明できる。 3. 代表的な看護理論の概要について説明することができる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 著者の背景と著書の内容構成を説明できる。 2) 人間・健康・環境（社会）をどのようにとらえているか説明できる。 3) 看護の目的・方法、看護師をどのようにとらえているか説明できる。 4) 看護がどのように実践されるか事例を用いて説明できる。 4. 複数の看護理論の特徴と限界を比較しながら、看護実践への適用方法を考える。 5. グループワークで自分が学習したことや自分の考えを発言し、他の人と意見交換することによって学習を深めることができる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業・グループワークへの参加度、レポート、筆記試験により評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) V. ヘンダーソン著、湯槇ます他訳：看護の基本となるもの、日本看護協会出版会 2) 筒井真優美編：看護理論、看護理論20の理解と実践への応用、南江堂、2008 3) ナイチンゲール、湯槇ます他訳、看護覚え書き、現代社 <p>参考書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) アン・マリナー・トメイ著、都留伸子監訳：看護理論家とその業績、医学書院 2) H.E. ペプロウ、稲田八重子他訳：人間関係の看護論、医学書院 3) D.E. オレム著、小野寺杜紀訳：オレム看護論、医学書院 4) S.C. ロイ著、松木光子監訳：ロイ適応看護モデル序説、へるす出版 5) ワトソン著、稲岡文昭他訳：ワトソン看護論、医学書院 					

授業計画

回	月 日	項 目	内 容	担当
1	4月11日	理論とは	ガイダンス 看護理論とは (課題の提示)	福間
2	4月18日	看護理論が 発展した背景	看護理論の分類(範囲) 理論の分類と代表的な理論家の理論について	福間
3	4/28 (金) 7・8・9・10	代表的な 看護理論	ヘンダーソン...基本的欲求と基本的看護	津本
4			1) 看護の対象をどのようにとらえるか 2) 看護の目的をどうとらえるか, 優れたナースとはどのような人か	
5	5/12 (金) 7・8・9・10	代表的な 看護理論	3) 基本的看護の構成要素とケアにあたって考慮すべき条件, 即ち, 対象者の何を観察・情報収集するのか	津本
6			4) この理論は看護実践の場でどのように展開されるか ヘンダーソンの理論を用いた看護展開の実際	
7	5月16日		理論の変遷 ナイチンゲール以降の社会情勢と理論の出現課程	福間
8	5月23日		ナイチンゲール...環境と管理	福間
9	5月30日		ペプロウ...対人関係の看護論	福間
10	6月6日		オレム...セルフケアの援助	福間
11	6月13日		ロイ...適応の援助	福間
12	6月20日		ケアリング (代表的な理論家とケアリングの理論的背景)	福間
13	6月27日		各理論の特徴を理解する (グループワーク)	福間
14	7月4日		各理論の特徴を理解する (グループ発表)	福間
15	7月11日	まとめ	看護理論の実践への適用とまとめ	福間

備 考

4月11日には教科書必携, 辞書(電子辞書でも可)も持参のこと。また, ナイチンゲールの単元に向けた課題提示を行います。

5月12日に ヘンダーソン著『看護の基本となるもの』を使用しますので, 持参して下さい。(課題提示)

授業科目名	看護過程論演習	担当教員	教授 津本 優子 他		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習・チュートリアル	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>看護は実践の科学である。看護実践が科学的であるとは、判断の根拠や実践の根拠が明確で理にかなっているということである。看護実践における根拠とは、その方法が科学的に検証された普遍的で一般化された知見に基づいているというだけでなく、対象者の個別の条件やニーズに対応していることを意味する。したがって科学的な看護を実践するためには、看護学独自の視点と系統的な思考過程に基づく方法論を学ぶ必要がある。</p> <p>看護過程は、健康問題の解決を目標として、個別的な看護ケアを個人や集団に対して組織的・系統的・計画的に行う看護活動のプロセスであり、問題解決過程と人間関係形成過程を基盤として展開される。より現実的な学びを得るために、チュートリアルで模擬患者を導入した実践的な事例展開を行い、臨地実習において応用できるようにする。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>クライアント中心の看護，科学的根拠に基づく看護を実践するために，問題解決過程に基づいた看護過程展開の方法論を理解し，実践への見通しを持つ。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程の構造および，各段階の機能について理解する 2. 看護実践において看護モデルを用いる意義と必要性を理解する。 3. 看護モデルを模倣することにより系統的なアセスメントの方法を理解する。 4. 情報と情報のつながりを整理して看護の必要性を焦点化するプロセスと方法を理解する。 5. 科学的知識とアセスメントに基づいて，個別的で具体的な看護計画を立案する方法を理解する。 6. 対象者の反応から看護実践の効果を評価する意義を理解する。 7. 看護過程の展開における対象者との協働の意義を理解する。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>チュートリアルへの参加度，提出レポートの到達度，筆記試験等で総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>「教科書」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 秋葉公子 他：看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 [第4版]，ヌーヴェルヒロカワ，2013 <p>「参考書」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 黒田裕子：しっかり身につく看護過程 (第1版)，照林社，2012 2 任 和子編：実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド，照林社，2015 3 古橋洋子編：はじめて学ぶ看護過程，医学書院，2017 					

授業計画

金曜日：3コマ (12:45～14:15)

回	日・時		授業内容	備考	方法	担当
1	4/7	導入	看護過程の概要, 展開方法	講義：看護過程とは, インタビューによる情報収集グループ(10G)・事例・記録用紙配布 宿題：事例の情報の整理・情報収集の準備・病態関連図作成および観察項目列挙	講義	津本 坂根・助教
2	5/19		ヘンダーソン理論の適用 情報収集・アセスメントの準備	講義：ヘンダーソン理論の看護過程への適用 宿題：データベースの整理・インタビューの準備 (情報収集計画用紙完成)	講義 GW	津本 坂根・助教
3	5/26		インタビューによる情報収集 フェイスシート・データベース補完	30分 / 1G × 3クール インタビューのフィードバックとデモ 宿題：インタビューの再準備	実践	津本・福岡 宮本・坂根 助教
4	6/2	事例展開	インタビューによる情報収集 アセスメント	インタビュー内容についてフィードバック データベース用紙によるアセスメントの実施 宿題：データベースの完成	実践	津本・福岡 宮本・坂根 TA
5			対象者の全体像の把握	講義：全体像把握と関連図について 演習：簡単な事例による関連図作成 宿題：関連図の作成	講義 GW	
6	6/9		看護問題の抽出	講義：関連図と看護問題および介入 宿題：看護問題に対するケア	講義 GW	津本・福岡 宮本・坂根 助教
7		看護問題抽出までの 学びのまとめ (発表準備)	発表内容 関連図 (抽出された看護問題) 問題抽出までの学び 発表資料印刷：A3 関連図1枚を縮小両面	GW		
8	6/16	中間総括	看護問題抽出までの過程に関する学びの共有	質疑応答込みで7分 / G × 10G = 70分 全体討議およびコメント 20分	発表	津本・福岡 宮本・坂根 助教
9		看護計画の立案, 評価と記録	講義：看護計画の立案 実践・評価と実施記録 (SOAP) 宿題：計画立案	講義 GW		
10	6/23	事例展開	模擬患者へフィードバック 看護計画の修正	計画内容の確認および修正 具体的手順作成 宿題：実践の具体的な計画	GW	津本・福岡 宮本・坂根 助教
11			看護実践の準備	看護実践の準備 実習室や物品を使用しながら最終確認		
12	6/30		模擬患者への看護実践 実践の評価と記録	30分/1G × 3クール 実践内容のフィードバック・実施記録	実践	津本・福岡 宮本・坂根 助教
13			看護展開の振り返り, 要約 全体カンファレンスの準備	全体カンファレンスの準備(発表内容の検討) 発表内容 実践内容(看護問題・アウトカム・計画・実施結果・評価) 本演習における学び 発表資料印刷：A4 1枚を縮小両面 講義：看護サマリの書き方	GW	
14	7/7	まとめ	全体カンファレンス, 学びの整理	カンファ：質疑応答込みで7分 / G × 10G = 70分 全体討議およびコメント 20分	講義 GW	津本・福岡 宮本・坂根 助教
15			基礎実習 にむけて	講義：実習に向けて(事例と技術チェック) 提出：記録用紙一式	発表	
16	7/14		筆記テスト			津本 坂根・助教

備考

「看護理論」の授業進行に合わせるため, 4/14, 4/21は休講とし, 4/28, 5/12は看護理論の講義が入る。

休講分は, 6月～7月に2コマ続きで補う

模擬患者への実践の回(3・4・12回)は第3実習室で行う。ユニフォーム着用のこと。

授業科目名	日常生活援助技術演習	担当教員	准教授 福間 美紀 他		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>この科目では、既習の科目の知識を基に、人の生活の場全般における健康的な生活や疾病からの回復に必要な日常生活の援助をするために必要な看護技術について学習する。</p> <p>人の環境・活動・食・排泄・清潔を中心とした日常生活に関わる看護援助技術の基本的な方法と人を対象とした看護技術の科学的根拠について学習する。</p> <p>専門職として、人に看護技術を実践するためには、看護の必要性、目的・目標・アウトカムを明確にし、適切な看護技術の方法を選択、実践し、その効果を評価する論理的思考が必要となる。</p> <p>さらに科学的根拠に基づいた看護技術を習得するとともに、論理的思考に基づいて、状況に応じた看護技術の実践を重要な課題としている。そのため、事前の課題学習や事後学習など、主体的に学習することで、技術を確実に身につけていくことが必要となる。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>日常生活を整えるための基本的な生活援助技術の方法を習得し、その科学的根拠を理解し、アセスメントに基づいて基本的方法を対象者に適応するための方法を考察し、実践する。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活援助の対象となる人に合わせた日常生活の支援の必要性を理解する。 2. 生活援助技術の原理・原則の基盤となる科学的根拠を理解する。 3. 各生活援助技術について、科学的根拠に基づく基本的方法を習得する。 4. アセスメントに基づいて対象となる人の生活援助の方法を組み立てる、論理的な思考を展開できる。 5. 援助技術の原理・原則を、[ボディメカニクス][作業域と行動の組み立て][清潔と不潔][経済性][反応の観察と対応][個別性][対象者との協働]の観点から効果的に活用するための方法を模索し、簡単な状況設定の基での活用ができる。 <p>個々の演習課題ごとに、下位レベルの行動目標を別途提示する。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>事前・事後の課題学習の提出をもって筆記試験・実技試験の受験を認める。</p> <p>実技試験においては、「看護学実習web」「演習メニュー」の当該技術の自己評価を入力すること。この入力の確認をもって受験資格とする。</p> <p>筆記試験60%・実技試験40%の配分で評価する。</p> <p>筆記試験、実技試験の再試験は行わないので十分準備し、受験すること。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：藤崎 郁・任 和子編：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 第15版, 医学書院</p> <p>参考書：第3実習室の書棚に関連する参考書を多数整備してあるので事前・事後学習に活用すること</p> <p>吉田みつ子他監修：写真でわかる基礎看護技術 基礎的な看護技術を中心に！. インターメディカ</p> <p>DVD：第3実習室の書棚に関連するDVDを多数整備してあるので事前・事後学習に活用すること</p> <p>* 講義時間外の練習日を活用し、確実に習得できるよう繰り返し練習すること。</p>					

授業計画

初回, 第3実習室にユニフォームで集合すること

回数	月日		テーマ	内 容	方法	担当	
1	4/12	5・6	看護技術の概念 看護技術の学び方	オリエンテーション, 日常生活の援助とは	講義	福間	宮本 坂根
2		7・8		看護技術の基礎となる9つの視点			
3	4/19	5・6	感染予防 環境調整の技術	手指衛生, 標準防護具 (PPE) の使用	講義 演習	福間	宮本 坂根
4		7・8		環境調整			
5	4/26	5・6	環境調整の技術 安全管理の技術	ベッドメイキング	講義 演習	福間	宮本 坂根
6		7・8					
7	5/10	5・6	活動の技術	体位変換・ポジショニング	講義 演習	福間	宮本・坂根 玉川
8		7・8		ベッド上での移動			
9	5/17	5・6	休息の援助 安楽促進の技術	リラクゼーション・睡眠	講義 演習	宮本	福間 坂根
10		7・8		電法・マッサージ・指圧・足浴			
11	5/24	5・6	活動の技術	車いす移動・ストレッチャー移動	講義 演習	福間	宮本 坂根 玉川(2コマ)
12		7・8		歩行の援助			
13		9・10		みだしなみ			
14	5/31	5・6	環境調整の技術 安全管理の技術 清潔の援助技術	臥床患者のベッドメイキンググループワーク	講義 演習	福間	宮本 坂根
15		7・8		臥床患者のベッドメイキング			
16	6/7	5・6	清潔の援助技術	温タオルを使った全身清拭・ 石鹸を使った全身清拭・ 寝衣交換	講義 演習	宮本	福間 坂根 玉川(2コマ)
17		7・8					
18		9・10					
19	6/14	5・6	清潔の援助技術	洗髪 (ケリーパッド)	講義 演習	宮本	福間・坂根 玉川
20		7・8		洗髪 (洗髪車)			
21	6/21	5・6	排泄の援助技術	尿器, 便器の使い方 オムツ交換, 陰部洗浄	講義 演習	宮本	福間・坂根 玉川
22		7・8					
23	6/28	5・6	看護術の応用	看護技術を患者に応用すること	講義 演習	福間	宮本 坂根
24		7・8		片麻痺患者への看護技術の応用(全身清拭・車いす) グループワーク			
25	7/5	5・6	食の援助技術	口腔ケア・誤嚥のリスクのある患者の食事介助	講義 演習	宮本	福間 坂根
26		7・8					
27	7/12	5・6	日常生活の援助技術：車いす移動		実技 試験	福間	宮本・坂根 玉川
28		7・8					
29	7/19	5・6	日常生活の援助技術：全身清拭		実技 試験	福間・内田 津本・宮本 坂根・玉川	
30		7・8					
		9・10					

授業科目で実践しなかった関連の技術や応用的な技術 (デモストのみで行った技術) については, 練習日を活用し技術を習得すること。

授業科目名	診療時援助技術演習	担当教員	講師 宮本 まゆみ 他		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義と演習	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>医療を必要とする人の生活を支える看護ケアは、病気の治癒の促進や安寧を目的として行われるが、対象者の身体に何らかの侵襲を伴って実施されるため大変リスクの高い行為となる。将来、これらのケア技術を安全かつ安楽に的確に実施できるよう、また、多様な場面で活用できるよう、“覚える”学習ではなく、科学的根拠に基づいた原理・原則を主体的に学び、状況に応じた方法を考えることに重きを置いた学習を行う。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>事前の課題学習 演習 復習・練習の繰り返しにより、科学的根拠に基づく援助技術の基本的方法を模倣レベルで習得し、対象者の状態と取り巻く状況に対応した個別の援助方法を導くための方法を理解する。それにより、医療・看護ケアに潜在するリスクを予見し、回避するためのリスク感性を育む。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的看護技術の原理・原則の基盤となる科学的根拠を理解する。 2. 各看護技術について、科学的根拠に基づく基本的な方法を模倣できる。 3. 援助技術の原理・原則を、[ボディメカニクス][作業域と行動の組み立て][清潔と不潔][経済性][反応の観察と対応][個別性][対象者との協働]の観点から効果的に活用するための方法を考察できる。 4. アセスメントに基づいて援助方法を導く、論理的思考と実践の融合プロセスを習慣化する。 5. 看護行為の安全に対する看護者の責務について考察する。 個々の演習課題ごとに、下位レベルの行動目標を別途提示する。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>事前・事後の課題学習の提出をもって筆記試験・実技試験の受験を認める。 筆記試験80%・実技試験20%の配分で評価する。 再試験は行わない。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：1 本庄恵子・吉田みつ子監修：写真で分かる臨床看護技術 アドバンス，インターメディカ，2016 2 本庄恵子・吉田みつ子監修：写真で分かる臨床看護技術 アドバンス，インターメディカ，2016 3 藤崎 郁・任 和子編集：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3]基礎看護学技術，第15版，医学書院（日常生活援助技術演習でも使用する）</p> <p>参考書：1 三上れつ・小松万喜子編：演習・実習に役立つ基礎看護技術 - 根拠に基づいた実践をめざして，第3版，NOVELLE HIROKAWA 2 吉田みつ子・本庄恵子監修：写真で分かる基礎看護技術アドバンス，インターメディカ，2016 3 ナーシング・グラフィカ基礎看護学 基礎看護技術，第6版，メディカ出版，2017 4 医療情報科学研究所編集：看護技術が見えるvol.1 基礎看護技術 第1版，メディックメディア，2014 5 医療情報科学研究所編集：看護技術が見えるvol.2 臨床看護技術 第1版，メディックメディア，2013 5 村中陽子・玉木ミヨ子・川西千恵美：看護ケアの根拠と技術 第2版 - 学ぶ・試す・調べる，医歯薬出版株式会社，2013 N501演習室の書棚に関連する参考書を多数整備してあるので事前・事後学習に活用すること</p> <p>DVD：N501演習室の書棚に関連するDVDを多数整備してあるので事前・事後学習に活用すること</p>					

授業計画

後期 金曜日：3, 4 コマ (12:45 ~ 16:00)

回数	月日	時限	内 容	方法	責任者	ファシリテーター
1	9/29	5・6	オリエンテーション・物品チェック ユニフォームに着替えて第3実習室に集合	講義	宮本	福間・坂根 TA
2		7・8	感染予防の技術 ・ガウンテクニック法, 滅菌物の取り扱いと清潔操作	講義・デモ 演習	宮本 (坂根)	
3	10/6	5・6	創傷管理技術 ・創処置, 皮膚保護剤の活用, 包帯法	講義・デモ 演習	宮本	福間・坂根 TA
4		7・8	リスクの高い患者の食のアセスメントと援助 ・経管栄養			
5	10/20	5・6	リスクの高い患者の排泄のアセスメントと援助 ・グリセリン浣腸	講義・デモ 演習	福間	宮本・坂根 TA
6		7・8	・摘便 ・導尿 (一時導尿・膀胱内留置カテーテルの管理)			
7	10/27	5・6	呼吸・循環状態のアセスメントと援助 ・酸素療法	講義・デモ 演習	福間	宮本・坂根 TA
8		7・8	・吸引・吸入			
9	10/31 (火)	5・6	医療事故の防止とリスクマネジメント	講義	内田	福間・坂根 TA
10		7・8	ベッドサイドにおける危険予知 (基礎実習 に向けて)	演習	宮本	
11	11/10	5・6	与薬の援助技術 ・与薬におけるリスク	講義・デモ 演習	宮本	福間・坂根 TA・細貝
12		7・8	・皮下注射 ・筋肉注射			
13	11/17	5・6	与薬の援助 ・点滴静脈内注射の管理	講義・デモ 演習	宮本	福間・坂根 TA・細貝
14		7・8	検査に伴う援助技術 ・採血			
15	11/24	5・6	総合演習	GW	宮本	津本・福間 坂根・TA
16	12/1	5・6	総合演習	演習	宮本	津本・福間 坂根・TA
17		7・8	個人情報保護に関する研修 (基礎実習 に向けて)	講義	医療情報 学講座 教員	宮本・坂根 TA
18	12/8	5・6	総合演習	演習	宮本	津本・福間 坂根・TA
19		7・8				
20	12/15	5・6	総合演習	演習	宮本	津本・福間 坂根・TA
21		7・8				
23	12/22	5・6	実技試験	実技試験	宮本	内田・津本 福間・坂根 TA・細貝
24		7・8				
25		9・10				
26	1/5	5・6	まとめの筆記試験	筆記試験	宮本	坂根

「基礎実習 に向けて」の演習内容は、実習オリエンテーションとして実施する。
12月1日の個人情報保護に関する研修は、講師の都合により日程を変更する可能性がある。

授業科目名	成人看護学概論	担当教員	教授 矢田 昭子		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>ライフサイクルにおける成人期の位置づけと成人各期の特性を全人的、総合的に理解する。また、成人期に罹患しやすい疾病構造の特徴を踏まえ、成人期にある人の疾病の回復から健康増進、健康レベルに応じた看護実践に必要な理論と方法、看護の役割を学習する。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期にある対象の特徴と健康問題について理解することができる。 2. 成人期にある対象の健康問題に対する看護のアプローチ方法が理解できる。 3. 成人期にある対象の看護に必要な理論について理解することができる。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ライフサイクルにおける成人期の位置づけと成人各期の特性について説明できる。 2. 成人期にみられる主要な健康問題とそれに関連する要因について説明できる。 3. 成人期にある人の疾病の回復から健康増進、健康レベルに応じた看護活動の特徴について説明できる。 4. 成人期で疾病をもつ人が自宅で質の高い生活を送ることができるように継続看護の重要性について説明できる。 5. 成人期に適用できる看護理論や看護概念の概要について説明できる。 6. 成人期における倫理的課題について考えることができる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>筆記試験・レポート等を合わせて評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p><教科書></p> <p>大西和子, 岡部聡子: 成人看護学概論</p> <p><参考書></p> <p>安酸史子編: ナーシング・グラフィカ 成人看護学概論, メディカ出版</p> <p>野口美和子編: 成人看護学 [1] 成人看護学概論 / 成人保健, メヂカルフレンド社</p> <p>黒田裕子編: 成人看護学, 医学書院</p> <p>矢田昭子, 秦美恵子編: 基準看護計画第2版, 照会社</p> <p>佐藤栄子: 中範囲理論入門 - 事例を通してやさしく学ぶ, 日総研</p> <p>野川道子: 看護実践に活かす中範囲理論, メヂカルフレンド社</p> <p>黒田裕子: 看護診断のためのよくわかる中範囲理論, 学研マーケティング</p>					

授業計画

回	月日	テ ー マ	授 業 内 容	担当者
1	9/27	成人期にある人々の特徴	社会の中でライフサイクルから見た成人期の位置づけと特性 エリクソンの発達理論	矢田
2	10/2	成人期にある人々の生活と健康	成人の生活状況の特徴 生活と健康をはぐくむシステム	矢田
3	10/11	中範囲理論の学習 グループワーク	成人期にある対象の看護に必要な理論について、グループワークをする 1. 人間の心理行動の理解 危機理論 ストレス・コーピング理論 2. 看護介入や患者教育への活用 アンドラゴジー 自己効力理論 アドヒアランス	矢田
4	10/23	中範囲理論の学習 グループワーク		矢田
5	10/30	中範囲理論の学習 グループワーク		矢田
6	11/6	中範囲理論の学習 グループワーク		矢田
7	11/13	中範囲理論の学習 グループワークの発表	担当した中範囲理論について発表 2つの理論	矢田
8	11/20	中範囲理論の学習 グループワークの発表	担当した中範囲理論について発表 2つの理論	矢田
9	11/27	中範囲理論の学習	担当した中範囲理論について発表 2つの理論	矢田
10	12/4	健康問題を抱える成人の理解と看護援助	クリティカル状態にある人の理解と看護	矢田
11	12/11	健康問題を抱える成人の理解と看護援助	慢性状態にある人の理解と看護	矢田
12	12/18	健康問題を抱える成人の理解と看護援助	がんに罹患している人の理解と看護	矢田
13	1/15	健康問題を抱える成人の理解と看護援助	終末期にある人の理解と看護	矢田
14	1/22	成人期にある人とその家族への看護	家族アセスメントと支援 家族システム理論他	矢田
15	1/29	継続看護	難病やがんに罹患している患者の継続看護	矢田
備 考				

授業科目名	老年看護学概論	担当教員	教授 原 祥子		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>高齢者の身体機能の特性や精神・社会生活を理解し、その健康とQOLを高める援助、あるいは穏やかな最期を迎えるための援助の基礎となる理論的知識について教授する。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>「若い」の意味を生涯発達の観点からとらえ直し、エイジングの多様性や個別性および老年看護の意義について考察する。個々の高齢者のもつパワーを洞察する視点を学習し、高齢者の健康生活を支える基盤である保健医療福祉制度について概括的に理解することを通して、老年期に潤いのある豊かな暮らしをもたらす支援のあり方を思考する。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 老年看護の意義について説明できる。 2. 生涯発達の観点からエイジングの多様性・個別性を理解し、老年期の発達課題について説明できる。 3. 高齢者の健康問題について説明できる。 4. 高齢者の家族関係や社会参加の特徴を理解する。 5. 高齢者保健・医療・福祉制度に関する変遷と今後の課題について概括的に理解する。 6. 高齢社会における権利擁護について問題意識をもち、主体的に考えることができる。 7. 高齢者ケアに必要とされる各専門職の役割とチームアプローチの方法を理解する。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業への参加状況（出席カードの自由記載欄を含む）、授業に関連したレポート課題により、総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>【教科書】</p> <p>正木治恵，真田弘美編：老年看護学概論，南江堂，2016</p> <p>【参考書・視聴覚教材等】</p> <p>授業時に提示する。</p>					

授業計画

回	テ ー マ	授 業 内 容	担当者
1	.高齢社会と老年看護学	1. 高齢社会とは	原
2	.高齢社会と老年看護学	2. 日本における老年看護の成り立ち	〃
3	.老化の概念	1. 長寿とライフサイクルの変化 2. 老化・加齢 (Aging) と老いの自覚	〃
4	.老化の概念	3. 生涯発達と老年期の発達課題 4. 老年期における適応とサクセスフルエイジング	〃
5	.高齢者の健康問題と看護	1. 老化と老年病	〃
6	.高齢者の健康問題と看護	2. 老年症候群	〃
7	.高齢者の健康問題と看護	3. 健康長寿とライフスタイル	〃
8	.高齢者の健康問題と看護	4. 高齢者看護における看護の視点	〃
9	.老年期の家族関係と社会生活	1. 高齢者と家族 2. 老年期の対人関係と社会参加	〃
10	.高齢者保健・医療・福祉制度の動向	1. 老人医療・保健・福祉制度の変遷 2. 最近の医療保健改革の動向と老年看護	〃
11	.高齢社会における権利擁護	1. 高齢者への差別と権利擁護 (アドボカシー) 2. 高齢者虐待	〃
12	.高齢社会における権利擁護	3. 身体拘束をめぐる倫理的課題 4. 介護負担にみるジェンダーの問題	〃
13	.老いと死	1. 多死社会の到来 2. 高齢者の死因と看取りの場 3. 終末期を生きるとは	〃
14	.老年看護の活動の場	1. 介護老人保健施設・介護老人福祉施設における看護	〃
15	.老年看護の活動の場	2. 病院・介護保険施設における看護の機能と役割	〃

備 考

21世紀の超高齢社会における看護の機能と役割に期待されるものとして、「老年看護」は大きな位置を占めていきます。そのため「老年看護」の質的評価が保健看護活動全体の質を決定する大きな要因になるとも言えます。このような背景を踏まえて、問題意識をもって積極的に学習してほしいと思います。

授業科目名	小児看護学概論	担当教員	准教授 秋鹿 都子		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>子どもと家族を取り巻く環境を理解し、子どもの成長発達の内容、健全な成長発達を促進するための支援と健康増進に向けた支援について学ぶ。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>子どもの成長発達と家族の発達を踏まえて小児看護の意義を理解し、子どもと家族に対する支援について考えることができる。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護の対象と看護の役割について説明できる。 2. 乳児期から思春期までの子どもの身体・心理・社会的成長発達について説明できる。 3. 子どもの健全な成長発達を促進するための支援について考えることができる。 4. 子どもの健康増進に向けた支援について考えることができる。 5. 子どもと家族を取り巻く社会制度について理解できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>試験、授業への参加状況により総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p><教科書></p> <p>奈良間美保 他：系統看護学講座 専門分野 小児看護学 1 「小児看護学概論・小児臨床看護総論」, 医学書院, 2015.</p> <p><参考書></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中野綾美 (編) : ナーシンググラフィカ小児看護学 「小児の発達と看護」, メディカ出版, 2015. 2. 鈴木和子 他 : 家族看護学 理論と実践 第4版, 日本看護協会出版会, 2012. 					

授業計画

回	月日	テーマ	授業内容	担当者
1	9/28 (木)	小児看護の概念・倫理	小児看護とは，小児看護の変遷と課題，子どもの権利	秋鹿
2	10/4	子どもを取り巻く 社会・環境	子どもの貧困，児童虐待	秋鹿
3	10/18	子どもの成長・発達	発達理論，予防接種	秋鹿
4	10/25	子どもの成長・発達	乳児期の子どもの特徴：身体機能，情緒・社会的機能と養育	秋鹿
5	11/1	子どもの成長・発達	幼児期の子どもの特徴：身体機能，知的・情緒的・社会的機能と養育	秋鹿
6	11/8	子どもの成長・発達	学童期の子どもの特徴：身体機能，知的・情緒的・社会的機能と養育	秋鹿
7	11/15	子どもの成長・発達	思春期の子どもの特徴：身体機能，知的・情緒的・社会的機能と養育	秋鹿
8	11/29	子どもを養育する家族	子どもを養育する家族の特徴，家族アセスメント	秋鹿
9	12/6	病気をもつ子どもと 家族の看護	病気が子どもと家族に及ぼす影響と看護	秋鹿
10	12/13	入院・外来・在宅に おける子どもの看護	療養環境が子どもと家族に及ぼす影響と看護	秋鹿
11	12/20	障がいをもつ子どもと 家族の看護	障がいのとらえ方，発達障がいの子どものその家族の特徴と看護	秋鹿
12	1/10	病気の経過と看護	周手術期の子どもと家族の特徴と看護	秋鹿
13	1/17	病気の経過と看護	急性期の子どもと家族の特徴と看護	秋鹿
14	1/24	病気の経過と看護	慢性期の子どもと家族の特徴と看護	秋鹿
15	1/31	病気の経過と看護	終末期の子どもと家族の特徴と看護	秋鹿
備 考				

授業科目名	母性看護学概論	担当教員	講師 松浦 志保 他		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>母性各期の特性，母性意識の意義と役割，母子関係の成り立ちを理解し，母性およびその家族を対象とした援助に必要な知識と理論の基礎を学ぶ。</p> <p>また，性と生殖の視点から女性の生涯を通しての健康を考え，性と生殖に関するテーマを選択し，女性の健康についての理解を深める。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>生殖の意義を理解するとともに，母性の概念および特性を理解し，母性看護の役割を学ぶ。母性の健康を保持・増進するための家族，地域社会，国のそれぞれにおける保健システムや母性の健康に関する基礎的知識を習得し，性と生殖の視点から女性の生涯を通しての健康を理解する。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 母性看護の意義と役割が説明できる。 2 母子の健康に関する基礎的知識を習得する。 3 母子を取り巻く環境および保健システムを見据えた総合的なケアが理解できる。 4 性と生殖の視点から，社会制度や社会意識が及ぼす影響やそこで生じる葛藤などを含めて総合的に女性の健康を考察できる。 5 生命の尊厳，多様化する性意識への理解を深める。 6 自らの性に関する自己概念を発達させる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>提出課題の成果および科目試験の結果を総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書「母性看護学 母性看護学概論・母性保健 / 女性のライフサイクルと母性看護」 メヂカルフレンド社</p> <p>参考書「国民衛生の動向」厚生統計協会編 「わが国の母子保健」財団法人 母子保健研究会編 「看護法令要覧」門脇豊子編，日本看護協会出版会 「母性の研究」大日向雅美，川島書店 「母性をつくりなおす」B.K.Rothman，頸草書房 「母性の心理社会的側面と看護ケア」新道幸恵著，医学書院 「母性心理学」花沢成一，医学書院 「親と子のきずな」M.H.Klaus & J.H.Kennell，医学書院 「父親の発達心理学」柏木恵子，川島書店 「リプロダクティブ・ヘルス」我妻 堯，南江堂 「女性の看護学」吉沢豊予子，メヂカルフレンド社 「セクシュアリティの看護」川野雅資，メヂカルフレンド社</p>					

授業計画

回	月日	テ ー マ	授 業 内 容	担当者
1	9.28	母性の概念・母性看護の意義	女性とは，母性とは，母性看護の意義，役割	臨床看護学 教員
2	10.5	生殖器の構造と機能	生殖器の構造と機能	〃
3	10.19	性機能	女性のライフサイクルと性機能の発達	〃
4	10.26	母性の特性・家族の中の母子関係	母性意識の発達と特性・親になること	〃
5	11.2	リプロダクティブヘルスと家族計画	リプロダクティブヘルスの考え方とその方法	〃
6	11.9	母性の今日的課題	シングルマザーへの支援	〃
7	11.16	女性のライフサイクルと看護 1	女性のライフサイクルにおける健康課題と看護（グループワーク）	〃
8	11.30	女性のライフサイクルと看護 2	女性のライフサイクルにおける健康問題と看護（思春期）	〃
9	12.7	女性のライフサイクルと看護 3	女性のライフサイクルにおける健康問題と看護（成熟期）	〃
10	12.14	女性のライフサイクルと看護 4	女性のライフサイクルにおける健康問題と看護（更年期）	〃
11	12.21	女性のライフサイクルと看護 5	女性のライフサイクルにおける健康問題と看護（老年期）	〃
12	1.4	母性看護の変遷と現状	日本・諸外国における母性看護の変遷，母性看護の施策	〃
13	1.11	母性における保健統計	母性保健の変遷と現状	〃
14	1.18	不妊症に悩む女性の看護	不妊症に悩む女性の理解と看護	〃
15	1.25	母性看護学に求められるもの	母性看護学の理念と課題	〃
備 考				

授業科目名	精神看護学概論	担当教員	講師 瀧尻 明子		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>最初に、精神看護の対象と目的・機能，精神の健康と不健康，正常と異常の概念，心の構造・機能について講義する。次に精神保健・医療・看護の歴史の変遷について述べ，精神保健福祉法など関連法規・行政等についてふれ，精神障がいをもつ人の人権擁護と倫理について学ぶ。さらにライフサイクルからみた各々の発達段階の特徴や課題，防衛機制，精神看護学で用いる理論について講義し，精神看護の対象となる人々の心理社会的特性をふまえた支援のあり方について概説する。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>心の健康を維持する為の援助及び精神障がいをもつ人々に応じた看護を行うために，ライフサイクルや生活の場を理解する。特に精神看護学概論では，心の構造と機能，精神医療の歴史について学び，精神保健活動における看護師の果たす役割と機能について考えを深める事ができる。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護の対象・目的・機能について説明できる。 2. 心の構造や機能，心身の関連，健康 - 不健康の概念について説明できる。 3. ライフサイクルからみた各々の発達課題における心の発達と危機について説明できる。 4. 人々の生活の場で生じやすい心の問題を挙げ，その援助について考える事ができる。 5. 病を体験する人々の心の特徴について理解し，さまざまな障がいをもって生活する人々の生活の困難さについて考える事ができる。 6. 精神保健医療・看護・福祉の歴史の変遷と現状について説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>筆記試験，レポートにより判断する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書</p> <p>武井麻子：系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学 [1]，医学書院 系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学 [2]，医学書院</p> <p>参考書</p> <p>野村総一郎：標準精神医学 第4版 医学書院 武井麻子：精神看護学ノート第2版 医学書院 その他，授業の中で適宜紹介する。</p>					

授業計画

回	月日	テ ー マ	授 業 内 容	担当者
1	10/4	精神看護の概念	精神看護とは，精神看護と精神科看護，その役割と機能について	瀧尻
2	10/18	精神看護学の理論的枠組み	心の機能・構造，心の健康と防衛機制について	瀧尻
3	10/25	個人と集団(1)	個人と集団：最も身近な集団“家族”	瀧尻
4	11/1	個人と集団(2)	個人と集団：グループダイナミクス(集団力動)	瀧尻
5	11/8	ライフサイクルと精神保健(1)	発達に関する理論 胎児期，乳児期，幼児期の心の発達	瀧尻
6	11/15	ライフサイクルと精神保健(2)	学童期，青年期，壮年期，老年期の心の発達	瀧尻
7	11/22	生きることとメンタルヘルス(1)	職場・地域・学校・家庭における心の健康 人々の多様性を考える	瀧尻
8	11/29	生きることとメンタルヘルス(2)	ストレスと危機 クリティカルケア及び災害時の心のケア	瀧尻
9	12/6	生きることとメンタルヘルス(3)	うつ病と自殺の問題	瀧尻
10	12/13	治療的人間関係(1)	患者 - 看護師関係，治療的・非治療的技法	瀧尻
11	12/20	治療的人間関係(2)	看護における感情と看護師のメンタルヘルス ストレス対処，リラクゼーション法	瀧尻
12	1/10	精神医療と看護の歴史と現状(1)	欧米及びわが国における精神保健医療と看護の歴史 世界の精神保健の現状	瀧尻
13	1/17	精神医療と看護の歴史と現状(2)	精神保健および精神障がい福祉に関する法律，精神医療・看護の現状	瀧尻
14	1/24	精神保健福祉活動の実際(1)	精神障害と法制度	瀧尻
15	1/31	精神保健福祉活動の実際(2)	様々な職種とその役割，看護との連携のあり方 看護師のメンタルヘルス，リエゾン精神看護	瀧尻

備 考

水曜日12：45～14：15 N21

授業科目名	地域看護学概論	担当教員	教授 小笹 美子 他		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>個人・家族や集団・組織を含む地域を基盤とし、人々の健康な生活を予防的視点で支援する看護活動の基礎的知識を教授する。地域看護学の対象と領域の構成から公衆衛生看護の位置づけを解説するとともに、公衆衛生看護学が果たす機能・役割、公衆衛生看護学における理論や支援技術を伝える。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>健康レベルの異なる人々に対して地域でどのような保健・医療・福祉活動が行われているかを個人、家族、グループ、地域を単位とした活動の概略を理解しその中で看護者の果たす役割を理解する。また、健康問題を解決するための法律、施策や個人家族、グループ、地域を単位とした活動の概略を理解しその中で看護師、保健師が果たす役割を理解する。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師活動の理念、公衆衛生看護の機能・役割が理解できる。 2. 地域看護活動の歴史から地域における看護活動の場の特性と活動が理解できる。 3. 公衆衛生看護活動の理論が理解できる。 4. 公衆衛生看護活動の展開と地域診断について説明できる。 5. 公衆衛生看護における支援技術の特徴が理解できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>試験，出席率，レポート，授業における発表内容 によって総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>【教科書】 標準保健師講座 1 地域看護学概論，医学書院，最新版 標準保健師講座 2 地域看護技術，医学書院，最新版 最新 保健学講座 7 保健医療福祉行政論 メディカルフレンド社</p> <p>【参考図書】 近藤克則，健康格差社会，医学書院 国民衛生の動向 公衆衛生看護学テキスト 1 公衆衛生看護学原論，医歯薬出版 公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護技術，医歯薬出版 公衆衛生看護学テキスト 3 公衆衛生看護活動 ，医歯薬出版</p>					

授業計画 (木) 10:15～11:45

回	月日	曜日	テーマ	授 業 内 容	担当者
1	4月6日	木	地域看護活動の理論	地域で暮らす人々の理解 地域看護の理念と機能	小笹
2	4月13日	木	地域看護活動の理論	国・都道府県・市町村の仕組みと保健師活動	小笹
3	4月20日	木	地域看護活動の理論	ヘルスプロモーション, プライマリヘルスケア	小笹
4	4月27日	木	地域看護活動の技術	地域アセスメントと地域の健康課題	小笹
5	5月11日	木	地域看護活動の技術	発表 (キーワード)	小笹
6	5月18日	木	地域看護活動の展開	公衆衛生と保健所	牧野 由美子 出雲保健所長
7	5月25日	木	地域看護活動の技術	集団健診 (乳幼児健診, 特定健診) グループ, 組織支援	小笹
8	6月1日	木	地域看護活動の技術	地区把握と地区活動	小笹
9	6月8日	木	地域看護活動の展開	学生の発表	小笹
10	6月15日	木	公衆衛生看護活動	市町村の保健師活動	長谷川 伸子 (松江市)
11	6月22日	木	地域看護活動の展開	学生の発表	小笹
12	6月29日	木	地域看護活動の展開	学生の発表	小笹
13	7月6日	木	地域看護活動の展開	地域看護の課題と対策 (法令, 施策)	小笹
14	7月13日	木	公衆衛生看護活動	保健所の保健師活動	橋本 久美 (出雲保健所)
15	7月20日	木	地域看護活動の理論	公衆衛生活動と研究	小笹
16		木	試験		小笹

備 考

* 学外講師の都合等で予定が変更になることがある。

授業科目名	地域看護学活動論	担当教員	講師 榊原文 他		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>地域で生活する人々を対象とした公衆衛生看護活動として、地域診断による潜在的・顕在的な健康課題の分析方法や、健康教育・家庭訪問等の地域住民への直接的な支援技術について教授する。</p> <p>発達課題別・健康課題別の保健活動としては、ライフサイクルをつなぐ母子・成人・高齢者への支援や、精神・感染症・難病などの健康課題別の活動方法について演習事例を取り入れながら教授する。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達課題別・健康課題別の対象者への公衆衛生看護活動を理解できる。 2. 公衆衛生看護技術の原則と理論の基礎を理解し、実践に応用できる。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域集団の特性に応じた保健活動の展開方法を説明できる。 2. 発達課題別の保健活動が説明できる。 3. 異なる健康課題を持つ対象者への保健活動が説明できる。 4. 健康課題を持つ対象者への各種社会資源の活用方法が説明できる。 5. 地域診断を通じて、健康課題を導くことができる。 6. 健康教育の意義と方法を理解し、健康教育が実施できる。 7. 保健指導の基本を理解し、個別援助技術の手法が説明できる。 8. 家庭訪問の意義と一連の過程を理解し、訪問事例の展開ができる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>定期試験 70% 演習評価 (態度・意欲)・レポート 30%</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>【教科書】 荒賀直子・後閑容子編集：公衆衛生看護学. Jp, インターメディカル, 第4版 データ更新版 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術, 医学書院, 最新版</p> <p>【参考書】 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動, 医学書院, 最新版 日本看護協会監修：保健師業務要覧, 日本看護協会出版会, 最新版</p>					

授業計画

回	月日	曜日	コマ	テーマ	授業内容	担当者
1	10月3日	火		活動技術論(1)	地域診断	榊原
2	10月3日	火		活動技術論(2)	地域診断グループワーク	榊原, 藤田
3	10月10日	火		母子保健	母子保健の動向と健康課題	榊原
4	10月10日	火		母子保健	乳幼児の成長発達と保健指導	榊原
5	10月17日	火		母子保健	健康上のリスクを持つ母子への保健指導	榊原
6	10月17日	火		活動技術論(3)	健康教育の展開/演習ガイダンス	榊原
7	10月24日	火		成人保健	成人期の保健指導の動向と健康課題	榊原
8	10月24日	火		成人保健	成人期の保健指導/健康づくり活動の実際	榊原
9	11月7日	火		感染症	感染症対策の動向と課題	榊原
10	11月7日	火		感染症	感染症保健指導	榊原
11	11月14日	火		高齢者保健	高齢者保健指導	榊原
12	11月14日	火		高齢者保健	高齢者保健指導	榊原
13	11月21日	火		活動技術論(4)	地域診断演習発表	榊原, 藤田
14	11月21日	火		活動技術論(5)	地域診断演習発表	
15	11月28日	火		難病保健	難病保健指導	榊原
16	11月28日	火		活動技術論(6)	健康教育指導案作成のグループワーク	榊原, 藤田
17	12月5日	火		精神保健	精神保健指導	榊原
18	12月5日	火		活動技術論(7)	健康相談演習	榊原
19	12月12日	火		活動技術論(8)	健康教育発表	榊原, 藤田
20	12月12日	火		活動技術論(9)	健康教育発表	
21	12月12日	火	—	活動技術論(10)	健康教育発表	
22	12月19日	火	—	活動技術論(11)	家庭訪問による援助の展開/演習ガイダンス	榊原
23	12月19日	火	—	活動技術論(12)	家庭訪問援助展開のグループワーク	榊原, 藤田
24	1月9日	火		産業保健	産業保健の概要	藤田
25	1月9日	火		産業保健	産業保健の概要/産業保健指導の基本	花田(嘱託講師)
26	1月16日	火		産業保健	産業保健指導の実際	花田(嘱託講師)
27	1月16日	火		産業保健	産業保健指導の実際	池田(嘱託講師)
28	1月23日	火		活動技術論(13)	家庭訪問援助展開の発表	榊原, 藤田
29	1月23日	火		活動技術論(14)	家庭訪問援助展開の発表	
30	1月23日	火		活動技術論(15)	家庭訪問援助展開の発表	

備考

10月3日, 11月21日, 12月12日, 1月23日は第4実習室で行います。
11月28日の4コマは, N201, N601, N602演習室も使用できます。

授業科目名	基礎看護学実習	担当教員	教授 津本 優子 他		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	実習	時間数	90	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>基礎看護学実習 は、看護過程や日常生活援助論・ヘルスアセスメント技術演習などの既習の知識や技術を活用した実践を通して、看護の基礎的な方法を学ぶ。一人の患者を受け持ち、患者の健康問題を生活行動の面からアセスメントし、対象者の全体像を把えて、健康問題を解決するための看護の一連の過程を展開し、日々変化する患者のニーズに応じた看護を行う。そして、これらの体験を通して、病院の役割・機能、患者、看護師の役割を理解し、人間観、看護観の構築をめざす。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>入院療養生活を送る人々の健康問題を解決するために患者の健康問題を生活行動の面からアセスメントし、看護計画を立案し、日常生活援助技術を用いて看護活動を実践・評価する一連の過程を学ぶ。看護学の知識、技術を統合し、看護論・看護理論を基盤として科学的論証に基づいて、個別的看護を実践する。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護過程の展開 <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護に必要なとされる観察・コミュニケーションを行うことができる 2. 診療記録や患者自身から看護に必要な情報を取捨選択して収集し、アセスメントすることができる 3. 患者の健康問題をあげることができ、その優先順位を判断できる 4. 個別性を考慮した看護計画・実践ができる 5. 実践した看護の評価を、患者の言動をもとに行うことができる 6. 日々変化する患者のニーズに応じて計画を修正しながら実践できる 7. 日々の看護行為の過程で収集された情報を再整理しながら全体的な看護計画の立案ができる ・ 日常生活援助 <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の状態・状況に応じた援助の方法を選択できる 2. 患者に起こりうるリスクを考慮し、安全を確保できる 3. 患者の安楽に配慮した援助ができる 4. 患者の自立に向けた援助ができる 5. 患者を観察しながら適切な援助ができる 6. 科学的根拠に基づいたケアの提供ができる ・ 専門職としての基本的態度について <ol style="list-style-type: none"> 1. ケア提供の際にインフォームド・コンセントを実施することができる 2. 患者の個人情報適切に保護することができる 3. 自分自身の健康管理ができる 4. スタンダード・プリコーションを遵守し、感染防止行動がとれる 5. 指導者に報告・相談を行い、支援のもとでケアが実施できる 6. 患者、看護師、その他医療チームから学ぶ姿勢を持つことができる 7. 看護学生としての身なり、言動、振る舞いに責任を持つことができる 					
<p>成績評価の方法</p> <p>実習の準備、参加度、態度、状況判断能力、技術レベル、実習記録で評価する</p>					
<p>備 考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年前期終了時まで履修すべき授業科目のうち、3科目以上の未履修科目がある場合、本科目は受講できない。但し、2年後期で履修見込みのものは除く。 ・ 実習期間中は実習病棟ごとに教員と実習指導者による指導が行われる。具体的プログラムは1月初旬に提示する。 					

專 門 教 育 科 目

(助 產 科 目)

(養 護 科 目)

授業科目名	助産学概論	担当教員	講師 松浦 志保 他		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>女性の生涯を通じて性と生殖を支援するために助産の基本概念および意義を学び、助産師の活動とその役割を学ぶ。また、女性のライフサイクルを通じた性と生殖における健康問題、身体的・心理社会的特徴について理解を深め、援助するための基礎的知識を学ぶ。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産に関する基本概念、助産の変遷と現状について学び、助産師の活動と役割を理解する。 2. 助産ケアに活用できる看護理論について理解する。 3. ケアの対象となる妊娠・分娩・産褥期の女性および胎児・新生児における健康問題および身体的・心理社会的特徴について理解を深める。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産の基本理念を理解し、助産師の役割と活動について説明できる。 2. 看護理論を活用しながら助産ケアを実践するために必要な基礎的知識を理解する。 3. 妊婦、産婦、褥婦および新生児の健康問題および身体的・心理的・社会的特徴を理解する。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業への参加状況および提出課題、最終試験を総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 我部山キヨ子編：助産学講座 (1) 基礎助産学 (1) 助産学概論 医学書院 2) 我部山キヨ子編：助産学講座 (1) 基礎助産学 (2) 母子の基礎科学 医学書院 3) 我部山キヨ子編：地域母子保健・国際母子保健 医学書院 					

授業計画

回	月日	テ ー マ	授 業 内 容	担当者
1	9.29	助産の概念	助産の意義, 定義, 助産師の職業	松浦 他
2	10.6	性と生殖における 人権と倫理	性と生殖の基本的概念, 生命倫理	〃
3	10.20	助産の変遷	母子保健および助産の変遷	〃
4	10.27	助産ケアと理論	助産ケアに活用できる看護理論	〃
5	10.31 (火)	ライフサイクルと 健康課題	女性のライフサイクルにおける心身の特徴 と健康	〃
6	11.10	母子の健康に影響を 及ぼす因子	栄養, 物理・化学的環境, 薬物, 嗜好など	〃
7	11.17	ライフサイクルにおける 主な疾患	小児期・思春期・胎児期・新生児期	〃
8	11.24	ライフサイクルにおける 主な疾患	成熟期・更年期・老年期	〃
9	12.1	妊婦に対する助産ケア	妊婦の特徴と健康課題	〃
10	12.8	産婦に対する助産ケア	産婦の特徴と健康課題	〃
11	12.15	褥婦に対する助産ケア	褥婦の特徴と健康課題	〃
12	12.22	母子保健の現状と動向	母子保健の諸問題, 母子保健行政	〃
13	1.5	地域における 母子保健活動	母子保健活動の展開	〃
14	1.19	不妊に悩む女性の看護	不妊症の種類とその看護	〃
15	1.26	助産師の責務	助産師の将来展望とその責務	〃
16		試験		
備 考				

授業科目名	養 護 概 論	担当教員	講師 土江 梨奈		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>今日、学校教育および学校保健活動において養護教諭の果たす役割は大きく、その専門性を活かした対応が期待されている。この授業では、養護の理念及び養護教諭の職務、養護活動の具体的展開方法について学び、養護教諭としての基礎的知識・技術を習得するとともに、養護教諭の役割と養護教諭の専門性について考察する。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 養護の理念、養護教諭の活動内容や過程、その原理を理解する。 2. 児童・生徒、教職員を対象とした保健管理、保健教育、保健室経営、保健組織活動の概要を理解する。 3. 養護教諭の専門性について考えを深める。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 養護の理念を説明できる。 2. 養護教諭の歴史、専門的機能を説明できる。 3. 教育職としての養護教諭の役割を説明できる。 4. 養護活動の種類を説明できる。 5. 養護活動の種類別にその概要を説明できる。 6. 養護教諭としての自らの教育観を深める。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>出席状況と参加度、課題、小テスト、筆記試験により総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：「新版・養護教諭執務のてびき第9版」、石川県養護教諭研究会編、東山書房</p> <p>参考書：「新養護概説」(第8版)、采女智津江編集、少年新聞社</p> <p>「学校保健実務必携」(第3次改訂版)、学校保健・安全実務研究会編著、第一法規</p> <p>「学校保健の課題とその対応 - 養護教諭の職務等に関する調査結果から -」、日本学校保健会</p> <p>「保健室経営計画の手引き」、日本学校保健会</p> <p>「児童生徒の健康診断マニュアル」(改訂版)、日本学校保健会</p> <p>「子どもの心のケアのために - 災害や事件・事故発生時を中心に -」、文部科学省</p> <p>「平成23年度調査結果 保健室利用状況に関する調査報告書」、日本学校保健会</p> <p>「学校のアレルギー疾患に対する取り組み方ガイドライン」、日本学校保健会</p> <p>「学校において予防すべき感染症の解説」、日本学校保健会</p> <p>・その他、随時授業の中で紹介する。</p>					

授業計画

回	月 日	曜日	テ ー マ	授 業 内 容	担当者
1	10月2日	月	養護教諭の理念及び 職務の発展	養護教諭の職務と専門性 養護教諭の歴史	土江
2	10月11日	水	養護教諭制度 児童生徒の健康実態	養護教諭の免許と養成制度 児童生徒の健康実態	土江
3	10月23日	月	養護活動(1)	保健室経営 学校保健計画・学校安全計画	土江
4	10月30日	月	養護活動(2)	健康観察・感染症予防	土江
5	11月6日	月	養護活動(3)	健康診断	土江
6	11月13日	月	養護活動(4)	保健学習・保健指導	土江
7	11月20日	月	養護活動(5)	健康診断(2) 課題発表	土江
8	11月27日	月	養護活動(6)	学校安全・危機管理 学校救急処置	土江
9	12月4日 14:30～ 17:45	月	養護活動(7)	保健指導課題(発表)	土江
10			養護活動(8)		土江
11	12月11日	月	養護活動(9)	特別支援教育における養護教諭・疾病 管理	土江
12	12月18日	月	養護活動(10)	特別支援教育における養護教諭	土江
13	1月15日	月	養護活動(11)	学校環境管理	土江
14	1月22日 14:30～ 17:45	月	養護活動(12)	組織活動 関係職員・関係機関 養護活動の評価	土江
15			養護活動(13)	これからの養護教諭に求められる力量 まとめ	土江

備 考

適宜、確認小テストを行います。
スケジュールは変更することがあります。

教職に関する科目

授業科目名	教育課程論	担当教員	嘱託講師 森 久佳		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義・演習	時間数	30	単位数	2
授業概要 まず、今日の学校における教育課程の意義と、その開発・編成方法を理論的・実践的に理解する。また、社会における学校の役割や教育課程に関わる関連法規を確認し、各学校の教育目標を具現化するためのプロセスとしての教育課程の要件の考察を行う。その上で、子どもたちの豊かな学びに資する教育課程のあり方についても考える。					
科目の達成目標 1. 初等・中等教育諸学校における教育課程の意義を理解する 2. 教育課程の開発・編成の方法に関する基本的な理論を理解する 3. 教育課程に基づいた指導計画を作成するための基本的な知識を修得する					
授業内容 1. オリエンテーション：教育課程とカリキュラム 2. 教育課程・カリキュラム開発・編成の理論とモデル1 3. 教育課程・カリキュラム開発・編成の理論とモデル2 4. 教育課程・カリキュラムと授業1 5. 教育課程・カリキュラムと授業2 6. 授業における評価の意義と方法1 7. 授業における評価の意義と方法2 8. 教育課程の歴史的変遷1：江戸時代から戦前 9. 教育課程の歴史的変遷2：戦後から現在 10. カリキュラム・リーダーシップと教師の力量形成 11. カリキュラム・リーダーシップと専門的共同体 12. 情報教育・ICT活用 13. 教育課程・カリキュラム開発・編成の国際的動向 14. 今日の課題と今後の展望 15. まとめ					
授業の進め方 教育課程・カリキュラムやその意義について自分なりの答えを見だし、教育課程・カリキュラムを開発・編成することの意味を理解してもらうことを重視します。					
授業キーワード 教育課程、カリキュラム					
成績評価の方法 出席・課題：30% レポート：70%					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 テキスト：特にありません。 参考文献：田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵（2009）『新しい時代の教育課程』（改訂版）有斐閣アルマ。 田中博之（2013）『カリキュラム編成論』放送大学教育振興会。 その他授業資料等：随時、参考資料等を配布します。					
履修上の指導 積極的な参加を望みます。					
オフィスアワー 集中講義のためありません。					

授業科目名	道徳及び特別活動論	担当教員	教育学部准教授 西田 忠男		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	集中講義	時間数	32	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>この授業では、学校における道徳教育と特別活動の内容について理解するとともに、道徳教育および特別活動の今日的課題を明らかにします。また、いずれも教科外領域である道徳と特別活動の相互関係について考察します。</p>					
<p>科目の達成目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 道徳と特別活動の教育課程上の位置付けと内容について理解する。 2 幼児期から青年期に至るまでの子どもの発達について理解する。 3 学校教育における教科外教育の今日的課題を知る。 					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間発達と教育 2 健康な成長・発達 3 学校教育の目的・目標 4 「道徳」と「特別活動」 - 教育課程 - 5 道徳と教育 - 道徳とはなにか - 6 道徳の形式と道徳の思想 7 道徳教育の目標と方法 8 道徳教育の歴史と制度 9 現代社会と道徳教育 - 現代社会の特質と今日的課題 - 10 特別活動の目標 - 特質と特徴 - 11 特別活動の内容 - 学級活動 - 12 特別活動の内容 - 児童会・生徒会活動 - 13 特別活動の内容 - 学校行事 - 14 特別活動の歴史と制度 15 現代社会と特別活動 - 今日的課題 - 16 期末試験 					
<p>授業の進め方</p> <p>各授業内容ごとに一つのテーマを設定して、そのテーマを中心に考えることによって、道徳教育と特別活動に関する基礎的知識の習得と問題点を容易に理解できるようにします。</p>					
<p>授業キーワード</p> <p>人間発達，教育，価値，文化，体験，集団活動</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>レポートおよび期末試験（筆記）100点満点で、60点以上が合格。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>テキスト：使用しない。</p> <p>参考文献：必要に応じて、適宜紹介します。</p> <p>その他授業資料等：必要に応じて、適宜配布します。</p>					
<p>履修上の指導</p> <p>「ノート」は単に板書のコピーではなく、講義内容についてのさまざまな疑問や気付きなども含めて記入してください。</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>随時</p>					

授業科目名	視聴覚教育論	担当教員	教育学部教授 権藤 誠剛		
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	選択（教職科目）		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>教育の領域において、視聴覚教育メディアがどのような意味を持ち、また持たせることができるのか。その必要性和独自性について歴史的に概観すると同時に、授業コミュニケーションの基本的な構造とその過程、そこにおけるメディアの意義と役割を明らかにしていく。また、学校における今日的な利用と機能、デジタルメディア教材等の特質について考察し、さらに、メディアリテラシー論についても触れる。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>視聴覚教育の意義について理解する。視聴覚教育の歴史的な理解を図る。視聴覚教育メディアの特質についての理解を促す。博学連携における視聴覚教育メディアの利用とその意味を理解する。メディアリテラシーとその教育についての理解を図る。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <p>視聴覚教育メディアを利用した学習・教育の仕組みについて興味・関心を持ち、自ら積極的にメディアを利用した学習展開を構想し、効果的に表現しようとする姿勢を培う。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業への主体的な参加・発言内容（なお、理解の進み具合を確かめるためノート提出を求めることもある。）を20%、期末試験を80%とする。期末試験は授業内容の理解とそれに基づく計画案の作成、論述（根拠性、論理性、説得性）内容で評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>特に教科書は使用しない。授業内容に応じて適宜、視聴覚教材を利用したり、資料や文献を提示し、紹介する。</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>必要に応じて適宜、メールにて日程調整します。 E-mail：gondo@edu.shimane-u.ac.jp</p>					

授業日程表

回	月 日	テーマ	授 業 内 容	備 考
1	9月28日	視聴覚教育とは何か	授業の目的と計画, 視聴覚教育体験 視聴覚教育とメディア教育, 視聴と意識	
2	10月5日	コミュニケーションの基本構造と メディアの位置	情報機器の活用による教育方法の拡 大, 学習内容・方法の拡充の可能性	
3	10月19日	授業の基本構造と教材・メディア の位置	教材作成の基本要素, 構造化・ストー リー性, 自作教材の意義	
4	10月26日	子どもと教師と視聴覚メディアの特性 情報機器活用の意義	メディアと機器, メディアの特性, 映像と言語の関係, 映像と音声の関係	
5	11月2日	情報機器活用によるプレゼンテーション (1) 目標・内容と表現	目標・内容と表現の関係, 言語と映 像イメージ, 映像イメージの構造化	
6	11月9日	情報機器活用によるプレゼンテーション (2) メディアと表現	視聴覚メディアの機能, 喚起, 補助・ 代替, 課題提示, 自己表現	
7	11月16日	情報機器活用によるプレゼンテーション (3) 視聴者と表現	素材と教材, 「見えるもの」から「見 えないもの」へ, 視聴から思考へ	
8	11月30日	情報機器を活用したマイクロティー チング	思考と表現の往還, 目標・内容と視 聴者と表現の省察	
9	12月7日	視聴覚教育と教育思潮 言語と感覚, 事物と認識	言語偏重主義へのアンチテーゼ, 感 覚・直観・経験から認識・言語へ	
10	12月14日	日本における視聴覚教育の史的概観(1) 掛け図・幻灯・映画の利用	事物とメディアと認識, 娯楽としての映 画と教育としての映画, プロパガンダ	
11	12月21日	日本における視聴覚教育の史的概観(2) 様々な教育機器の導入と利用	デールの円錐とは, 具体から抽象へ, 教育の現代化と視聴覚教育の関係	
12	1月4日	日本における視聴覚教育の史的概観(3) 視聴能力の形成と批判的視聴	視聴覚教育からメディア教育へ, 視聴 能力の形成, 子どものメディア活用	
13	1月11日	学校教育と社会教育・博物館	博学連携における学習の広がり, メディアとしての博物館の再発見	
14	1月18日	メディア・リテラシー教育論	メディア・リテラシーとは, メディア・リテラシー教育の必要性	
15	1月25日	教材論・メディア論・リテラシー 論から見た視聴覚教育の課題	子ども・教師にとって視聴覚教材や 視聴覚教育メディアとは, 手段と目 的, 学びの対象としてのメディア	
備 考				

授業科目名	生徒・進路指導論	担当教員	嘱託講師 家島 明彦		
開講年次及び学期	2年 前期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義と演習	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>心理学，教育学，コミュニケーション論などの知見に触れながら，進路指導（キャリア教育・職業教育），及び，生徒指導における理論と方法について学び，学校現場の今日的課題を把握すると同時に，その解決に必要な知識・技能・態度を身につけることを目的とする。</p>					
<p>科目の達成目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 進路指導・生徒指導の歴史と理論と方法について，それぞれ説明することができる（知識） 2. 進路指導で求められていることについて，答申やデータに基づいて説明することができる（知識） 3. 今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について，説明することができる（知識） 4. 相手の話を聞く際に傾聴・共感的理解を示すことができる（態度・技能） 5. 物事を相対化して分析・判断することができる（技能） 					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 進路指導・生徒指導の歴史 2. 進路指導・生徒指導の理論 3. 進路指導・生徒指導の方法 4. 進路指導・生徒指導に求められていること(1)～学習指導要領を読む～ 5. 進路指導・生徒指導に求められていること(2)～中央教育審議会答申を読む～ 6. 進路指導・生徒指導の今日的課題，及び，その解決策(1)～小学校の現場で起きていること～ 7. 進路指導・生徒指導の今日的課題，及び，その解決策(2)～中学校の現場で起きていること～ 8. 進路指導・生徒指導の今日的課題，及び，その解決策(3)～高校の現場で起きていること～ 9. 進路指導・生徒指導の今日的課題，及び，その解決策(4)～大学の現場で起きていること～ 10. 生涯発達とライフ・キャリアを見据えた進路指導・生徒指導のために 11. 現代青年を理解するために(1)～他者理解と自己理解～ 12. 現代青年を理解するために(2)～生涯発達における青年期～ 13. 現代青年を理解するために(3)～現代青年の心理と文化～ 14. 現代青年を理解するために(4)～アセスメントと評価の方法～ 15. まとめ 					
<p>授業の進め方</p> <p>プリントを使った講義と演習（個人/ペア/グループでの作業）を組み合わせることで授業を進めます。</p> <p>初対面の人とペアやグループになって作業する必要があります。</p> <p>授業毎に課題プリントと小レポートを提出してもらいます。また，クリッカーを使って出席確認や小テストを行います。</p> <p>これらは成績評価に反映されます。</p> <p>集中講義なので授業時間や休憩のタイミングは変則的に設定する可能性があります。</p> <p>授業時間外の学習が必要となる可能性もあります。</p> <p>必要な情報通知や宿題提出はウェブ上に開設した授業サイトを通して行うことがあります。</p>					
<p>授業キーワード</p> <p>進路指導，生徒指導，コミュニケーション</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業で取り組む作業プリントの提出（30%）</p> <p>授業毎の小レポート（30%）</p> <p>試験・レポート（40%）</p> <p>授業参加態度なども考慮し，適宜加減点を行います。</p>					

履修上の指導

3日間全参加を原則とし、遅刻・早退・欠席は減点対象とします。
やむを得ない事情で遅刻・早退・欠席する場合は事前に申し出ること。
正当な理由を公的な書類で証明できる場合は配慮します。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

テキスト：特定のテキストは使用しません。(毎回テーマに沿ったプリントを配布します)

参考文献：各テーマに合わせた参考文献を授業内で紹介していきます。

その他授業資料等：「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(中央教育審議会の答申)

オフィスアワー

連絡先：ieshima@soc.shimane-u.ac.jp

その他

ハサミ、定規、色ペン(3色以上)を準備してきて下さい。

養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の単位の修得方法

教職に関する科目	授業科目名	必修 単位	開講時期	開講場所	担当教員	備 考
教職の意義等に関する科目	教職概論C	2	1年前期			
教育の基礎理論に関する科目	教育原論	2	1年後期			
	人格発達心理学概説	2	1年後期			
	教育社会学概説	2	1年後期			
教育課程に関する科目	教育課程論	2	2年前期	松江キャンパス	嘱託講師 森 久佳	集中講義
	道徳及び特別活動論	2	2年後期	"	教育学部 准教授 西田忠男	集中講義
	視聴覚教育論	2	2年後期	出雲キャンパス (遠隔講義) L3講義室, 他	教育学部教授 権藤誠剛	木9・10
生徒指導及び 教育相談に関する科目	生徒・進路指導論	2	2年前期	松江キャンパス	嘱託講師 家島明彦	集中講義
	教育相談の理論と方法	2	1年後期			
養護実習	養護基礎実習事前・事後指導	1	3年前期	出雲キャンパス	講師 土江梨奈 他	
	養護基礎実習	2	3年前期	教育学部附属学校園		
	養護展開実習事前・事後指導	1	4年前期	出雲キャンパス		
	養護展開実習	2	4年前期	出雲市内小・中学校		
教職実践演習	教職実践演習 (養護教諭)	2	4年通年	出雲キャンパス		
	合計単位数	26				

履修登録については、別途通知する。

平成29年度オフィスアワー一覧

講座	教員名	場所	時間帯
基礎看護学	内田 宏美 教授	5階	会議等で不在の場合が多いので、メールをください。 E-mail : uchi@med.shimane-u.ac.jp
	津本 優子 教授	5階	調整するのでメールください。 E-mail : tsumotoy@med.shimane-u.ac.jp
	小林 裕太 特任教授	2階	月曜日 8:30～10:00, 火曜日 18:00以降 メール (yutakoba@med.shimane-u.ac.jp) でのコンタクトOK
	福間 美紀 准教授	5階	メールで日程調整します。 E-mail : mk8592@med.shimane-u.ac.jp
	宮本まゆみ 講師	5階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : mmiyamot@med.shimane-u.ac.jp
臨床看護学	矢田 昭子 教授	4階	適宜
	橋本 龍樹 教授	2階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail : ryuju@med.shimane-u.ac.jp
	福田 誠司 教授	3階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail : sfukuda@med.shimane-u.ac.jp
	秋鹿 都子 准教授	3階	日程を調整するので、メールをください。 E-mail : aika@med.shimane-u.ac.jp
	瀧尻 明子 講師	4階	日程を調整するので、メールをください。 E-mail : takijiri@med.shimane-u.ac.jp
	森山 美香 講師	4階	日程を調整するので、メールをください。 E-mail : mika1969@med.shimane-u.ac.jp
	松浦 志保 講師	3階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : shihom@med.shimane-u.ac.jp
地域・老年看護学	原 祥子 教授	5階	水曜日 12:00～13:00 適宜, メール (hara@med.shimane-u.ac.jp) でのコンタクトOK
	小笹 美子 教授	6階	日程を調整するので、メールをください。 E-mail : yozasa@med.shimane-u.ac.jp
	加藤 真紀 准教授	5階	適宜
	榊原 文 講師	6階	適宜 E-mail : aya@med.shimane-u.ac.jp
	竹田 裕子 講師	6階	適宜 E-mail : y.takeda@med.shimane-u.ac.jp
	土江 梨奈 講師	6階	適宜 E-mail : thuchie@med.shimane-u.ac.jp